

令和元年度第13回 地域連携推進機構運営会議 議事次第

日 時：令和元年11月15日（金） 15：00～17：00

場 所：本部管理棟 2階 第二会議室

【議題】

＜審議事項＞		資料番号
1	第3期中期目標期間に係る「中期目標の達成状況報告書」の作成等について	審議1
2	重点施策推進経費事業「沖縄の亜熱帯・島嶼型の資源を基に更なる共同研究を誘致する活動の機能強化事業」について	審議2
3	商標「琉球大学ウコン」に係る方向性について	審議3
4	令和二年度公開講座の実施について	審議4
5	令和二年度公開授業の運営について	審議5
6	その他	
＜報告事項＞		
1	「障害者の生涯学習支援活動」大臣表彰について	報告1
2	産学官連携部門ホームページ改修について	報告2
3	沖縄の産業まつりについて	報告3
4	各室・部門の当面の活動予定（主要事項）について	報告4
5	その他	

※参考資料

- ・ 地域連携推進機構運営会議 委員名簿（平成31年4月1日時点）（参考資料1）

※今後の日程（予定）

- ・ 第14回 … 12月 9日（月） 10：00～12：00 於：本部管理棟 2階 第二会議室
- ・ 第15回 … 1月20日（月） 10：00～12：00 於：本部管理棟 2階 第二会議室
- ・ 第16回 … 2月10日（月） 10：00～12：00 於：本部管理棟 2階 第二会議室
- ・ 第17回 … 3月 9日（月） 10：00～12：00 於：本部管理棟 2階 第二会議室

令和元年度第12回 地域連携推進機構運営会議

議事要旨（案）

日 時：令和元年10月18日（金） 16:00～17:15

場 所：大学本部棟2階 第二会議室

出席者：牛窪 潔（機構長）、竹村 明洋（副機構長 兼 産学官連携部門長）、背戸 博史（地域連携企画室長 兼 生涯学習推進部門長）、島袋 亮道（地域連携企画室 特命准教授）、小島 肇（地域連携企画室 特命准教授）、柴田 聡史（生涯学習推進部門 准教授）、畑中 寛（地域連携企画室 特命准教授）

欠席者：新田 早苗（総合企画戦略部長）、玉城 理（産学連携推進部門 准教授）、眞榮平 孝裕（産学官連携部門 教授(併任)）、金城 徹（総合企画戦略部 地域連携推進課長）、瀬名波 出（産学官連携部門 教授(併任)）

陪席者：富永 千尋（研究企画室 特命教授）崎山 英樹（課長代理(併)企画係長）、赤嶺 雅哉（地域連携推進係長）、與儀 あゆみ（産学連携推進係長）、金城 まなみ（企画係主任）、田頭 明子（地域連携推進係主任）、宮平 知佳子（地域連携推進係員）、天願 翔太（産学連携推進係員）、照喜名 佑悟（企画係員）

※審議に先立ち、9月13日開催の令和元年度第11回運営会議議事要旨（案）について確認があり、了承された。

<審議事項>

議長から、次の5件の事項における機構の今後の対応について審議を行う旨提案があり、各担当から説明の上、審議を行った。

1. プロジェクトシート8月確認について

各室・部門長から、資料（審議1）に基づき、プロジェクトシート8月確認について説明があった。審議の結果、提案のとおり了承された。

2. 非常勤講師（コーディネーター）委嘱について

背戸室長から、資料（審議2）に基づき、非常勤講師（コーディネーター）委嘱について説明があった。審議の結果、提案のとおり了承された。

3. 国立大学法人琉球大学研究成果有体物取扱規程の一部改正について

竹村部門長から、資料（審議3）に基づき、国立大学法人琉球大学研究成果有体物取扱規程の一部改正について説明があった。審議の結果、新旧対照表の改正理由に記載にされていた「ヒト試料（情報）」のカッコ書き「(情報)」を削除することで了承された。

4. 平成 31 年度公開講座の開講追加について

背戸部門長から、平成 31 年度公開講座の開講追加について説明があった。審議の結果、提案のとおり了承された。

5. 平成 31 年度琉球大学公開授業追加について

背戸部門長から、平成 31 年度琉球大学公開授業追加について説明があった。審議の結果、提案のとおり了承された。

6. その他（『琉大未来共創フォーラム』について）

牛窪機構長から、『琉大未来共創フォーラム』について説明があった。今後は本機構が実施母体となることが了承された。また、第 2 回目の講師として津田塾大学学長の高橋裕子先生を招聘することが了承された。

<報告事項>

議長から、次の 4 つの事項について機構の現状の認識と情報の共有を図るため、各担当から報告を行うよう発言があった。

1. 沖縄の産業まつり出展について

竹村部門長から、資料（報告 1）に基づき、報告があった。

2. 福井大学視察について

竹村部門長から、資料（報告 2）に基づき、報告があった。

3. 第 31 回国立大学法人共同研究センター長等会議について

竹村部門長から、資料（報告 3）に基づき、報告があった。

4. 各室・部門の当面の活動予定（主要事項）について

各室・部門から、資料（報告 4）に基づき、それぞれ報告があった。

5. その他

小島特命准教授から、大阪市港区との連携協定に係る大阪出張について報告があり、琉大側と港区側のメリット・デメリットを精査した上で連携協定の締結について取り組む旨の報告があった。

畑中特命准教授から、来年度開催予定の 70 周年事業に向けた今年度の FD・SD 研修について報告があった。

各 理 事 殿

副理事（評価・IR担当）
越 野 泰 成
（公印省略）

第3期中期目標期間に係る「中期目標の達成状況報告書」及び「平成31事業年度に係る業務の実績及び第3期中期目標期間（平成28～31事業年度）に係る業務の実績に関する報告書」の作成等について（依頼）

国立大学法人等は、中期目標期間における業務の実績について、文部科学省の国立大学法人評価委員会の評価を受けることになっております（国立大学法人法第31条の2第1項）。

第3期中期目標期間（2016（平成28）年度～2021（令和3）年度）においては、4年目終了時及び中期目標期間終了時に中期目標の達成状況についての評価が実施されることとなっており、必要書類の提出が求められております。

ついては、各理事において、下記のとおり「中期目標の達成状況報告書」及び「平成31事業年度に係る業務の実績及び第3期中期目標期間（平成28～31事業年度）に係る業務の実績に関する報告書」を作成いただき、提出願います。

記

1. 提出書類の作成方法及び提出期限：
別添参考資料1及び2をご参照の上、令和元年11月28日（木）までにご提出ください。
2. 提出先及び提出方法：経営戦略課評価・IR係宛てメールで提出願います。

【本件に関する照会先】

総合企画戦略部経営戦略課評価・IR係
金城・中村・玉城
内 線：8109
E-mail：kshyouka@acs.u-ryukyu.ac.jp

中期目標・中期計画 学内担当割振り

項目	計画番号	担当事務部局	とりまとめ事務部局
教育	1～4	教育支援課	学生部 教育支援課
	5	教育学部	
	6、7	教育支援課	
	8	法科大学院係	
	9	教育学部	
	10、11	教育支援課	
	12	教育学部	
	13、14	教育支援課	
	15	学生支援課(就職)	
	16	教育支援課	
	17、18	入試課	
研究	19～21	研究推進課	総企部 研究推進課
	22	共同利用施設係	
	23	研究推進課	
	25	研究推進課	
	56-1	研究推進課	
	69	研究推進課	
社会連携	26～29	地域連携推進課	総企部 地域連携推進課
	30	産学連携推進係	
国際連携	31～35	国際連携推進課	総企部 国際連携推進課
附属病院	36、37	医療支援課	医学部
	38～41	医・総務課	
	42	経営企画課	
附属学校	43～46	教育学部	教育学部
ガバナンス	48	総・総務課	総務部 総務課
	50	人事企画課(研究推進課)	
	52、53	経営戦略課	総企部 経営戦略課
	55	総・総務課	総務部 総務課
	65	職員課	
	68	総・総務課	
人事	24	職員課	総企部 研究推進課
	49	人事企画課	総務部 総務課
	51	職員課	
	54	職員課	
	57	人事企画課	
財務	47	財務企画課	財務部 財務企画課
	58	経理課	
	59	財務企画課	
広報	56-2	総・総務課	総務部 総務課
	62	総・総務課	
自己点検・評価	60～61	評価・IR係	総企部 経営戦略課
施設	63-1	施設企画課	施設運営部 施設企画課
	63-2	財務企画課	財務部 財務企画課
	64	施設企画課	施設運営部 施設企画課
情報	66～67	情報企画課	総務部 総務課
病院移転	70	上原地区キャンパス移転推進室	上原地区キャンパス移転推進室

【依頼事項】

下記「達成状況報告書の作り」を参照の上、次の2つの作業をお願いします。

- ・①について、当センター担当者のコメント等を参照の上、加除修正及び追記をお願いします。
- ・④について、記載をお願いします。

(②、③、⑤については、現時点では記載不要ですが、今後、記載をお願いすることがあります。)

達成状況報告書の作り

II 中期目標ごとの自己評価

1 教育に関する目標 (大項目)

(1) 中項目 1-1 「教育の内容及び教育の成果等」の達成状況の分析

小項目 1-1-1 の分析

小項目の内容	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~
--------	-------------------------

○小項目 1-1-1 の総括
《関係する中期計画の実施状況》

実施状況の判定	自己判定の内訳 (件数)	うち◆の件数*
中期計画を実施し、優れた実績を上げている。	1	0
中期計画を実施している。	2	1
中期計画を十分に実施しているとはいえない。	1	0
計	4	1

*◆は「戦略性が高く意欲的な目標・計画」

~~~~~

○特記事項 (小項目 1-1-1)  
(優れた点)

~~~~~  
~~~~~。(中期計画 1-1-1-1)

(特色ある点)

~~~~~  
~~~~~。(中期計画 1-1-1-2)

(今後の課題)

~~~~~  
~~~~~。(中期計画 1-1-1-3)

【小項目 1-1-1 の下にある中期計画の分析】

《中期計画 1-1-1-1 に係る状況》

|                    |                                                                                                                                                      |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 中期計画の内容            | ~~~~~<br>~~~~~。(★)                                                                                                                                   |
| 実施状況 (実施予定を含む) の判定 | <input checked="" type="checkbox"/> 中期計画を実施し、優れた実績を上げている。<br><input type="checkbox"/> 中期計画を実施している。<br><input type="checkbox"/> 中期計画を十分に実施しているとはいえない。 |

○実施状況 (中期計画 1-1-1-1)

(A) ~~~~~  
~~~~~

(B) ~~~~~
~~~~~

○小項目の達成に向けて得られた実績 (中期計画 1-1-1-1)

~~~~~  
~~~~~

○2020 年度、2021 年度の実施予定 (中期計画 1-1-1-1)

(A) ~~~~~  
~~~~~

(B) ~~~~~
~~~~~

「中期目標 1」のこと

- ・資料内に中目・中計番号を振っています。

◎記載してください

- ④各中期目標の 4 年目までの実績及び 5 年目以降の見込みを記載。  
・4 年目までは①がベース  
・5 年目以降は③がベース

⑤ 4 年目までの

関連する中期計画において、優れた成果を出した取組及び第 2 期と比べ目覚ましい成果を出した取組。  
(教育研究の質の向上もココに記載)

十分な成果が出ていなくとも特徴・特色があると考えられる取組。  
・ある程度②がベース

中期目標期間終了時に向けて解決すべき課題のある取組。

◎記載してください

- ①各中期計画の 4 年目までの実施状況を記載。  
・過去の実績報告書及び PS を参照し、大学評価 IR マネジメントセンターで素案を作成済み

- ②中期目標達成に向け、各中期計画が 4 年目までに、どのような貢献をしたかを記載。

- ③ 5 年目、6 年目の実施予定を記載。  
・「○実施状況」のアルファベットとリンクするように記載

中期目標に係る記載

各中期計画に係る記載

# 中期目標の達成状況報告書

2020年6月

琉球大学

# 目 次

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| I. 法人の特徴                              | 1  |
| II. 中期目標ごとの自己評価                       | 3  |
| 1 教育に関する目標                            | 3  |
| 2 研究に関する目標                            | 30 |
| 3 社会との連携や社会貢献及び地域を志向した<br>教育・研究に関する目標 | 38 |
| 4 その他の目標                              | 44 |

## I 法人の特徴

大学の基本的な目標（中期目標前文）

### 1. 琉球大学の目指すところ－Vision－

本学は、“Land Grant University”の理念のもと、地域との共生・協働によって、「地域とともに豊かな未来社会をデザインする大学」を目指すとともに、本学の強みを発揮し、新しい学術領域である **Tropical Marine, Medical, and Island Sciences (TIMES: 熱帯島嶼・海洋・医学研究)** の国際的な拠点として「アジア・太平洋地域の卓越した教育研究拠点となる大学」を目指す。

### 2. 長期ビジョンの実現に向けて－Mission－

本学は、草創期からの理念を生かし、沖縄や日本、世界に貢献できる教育研究拠点を形成する。

- ① 新たな「地（知）の拠点」として、沖縄や日本、世界に貢献できる人材を育成し輩出する。
- ② 「知の津梁（架け橋）」として、**Tropical Marine, Medical, and Island Sciences** の一大拠点となり、その成果を沖縄や日本、世界に還元し、平和的な多文化共生社会の実現に貢献する。

### 3. 第3期中期目標・中期計画の方針－Action－

本学は、第3期中期目標期間において、地域活性化の中核的拠点となるべく社会変革にシなやかに対応できるイノベーティブな大学としての歩みを加速する。

- ① 異なるものとの協働により、創造活動を生み出し続けるキャンパスを創出する。
- ② 「創造的な発想力」と、地域や地球規模での新たな課題に対して「果敢に挑戦する力」を持った人材を育成する。
- ③ 産学官連携と国際連携による組織的な連携を通じて多様な力を結集し、大学資源を有効に活用して、教育研究力をグローバルに展開する。

### 4. 地域社会・国際社会への貢献－Outcome－

#### 【教育を通じた貢献】

国際的に通用する教育の質および学位の質を確保しつつ、諸学を往還する幅広い教養を基礎とし、高度な専門知識と課題探究能力を糧に世界で活躍・貢献できる人材を育成する。

#### 【研究を通じた貢献】

地域社会の持続的発展に必要な基礎的・基盤的研究を推進しつつ、地域特性を踏まえた研究に基づく独創的な研究成果と新たな価値の創出、地域社会の発展に資する異分野融合や学際的な研究の推進を通じて、アジア・太平洋地域における中核的な学術研究拠点の形成を目指す。

#### 【社会・国際連携を通じた貢献】

「ウチナーンチュ・ネットワーク」をはじめとするグローバル・ネットワークを活用し、産業界、行政機関ならびに国内外の大学・研究機関との連携を強化して、地域の活性化および国際化に貢献する。

#### 【大学ガバナンス】

社会のニーズに対応するため、組織編成や財政基盤の強化、教育研究力の向上に資する取組を戦略的・機動的に展開し、自己点検・評価と外部評価を反映した大学運営を行う。

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.

[個性の伸長に向けた取組 (★) ]

- (関連する中期計画〇-〇-〇-〇)
- (関連する中期計画〇-〇-〇-〇)

[戦略性が高く意欲的な目標・計画 (◆) ]

- 本学がこれまで交流を深めてきた太平洋島嶼地域における大学（パラオ地域短期大学、ミクロネシア連邦短期大学等）との間に、「太平洋島嶼地域枠（特別編入学）」を新たに設け、当該地域のコミュニティ・カレッジ卒業者に「学士」を修得させる教育連携の仕組み及び体制を構築し、太平洋島嶼地域の人材育成機能の一翼を担う。これを基盤に、本学における国際通用性のある体系的な学士教育プログラムを確立する。  
(関連する中期計画 4-1-1-1)
- 戦略的に大学資源を再配分し、研究資源を持つ学外機関とも連携した研究推進システムを構築する。このシステムにより、熱帯・亜熱帯、島嶼・海洋、琉球・沖縄文化、健康・長寿・国際感染症等の地域に根ざした特色ある研究、及び地域社会からの強い要請に基づく課題解決型研究について、複数の戦略的研究プロジェクトを編成して取り組み、地域資源を活用した地域イノベーションを支える学術基盤と研究開発力を強化する。  
(関連する中期計画 2-1-1-2、2-2-1-1)
- 島嶼地域における地域創生と地域イノベーションに向けて、地域社会を支える人材及び地域産業の振興を担う人材の高度化のため、琉球大学に設置する地域連携推進機構が中核となり、大学の教育研究資源と産官民が持つ多様な資源を活用して、地域の声を十分に汲み取りながら、産学官民協働による実践型の教育システムを構築する。  
(関連する中期計画 3-1-1-2、3-1-1-3)
- 島嶼県における地域医療の「最後の砦」として、沖縄県地域医療構想における高度急性期医療を担い、地域完結型医療の中核としての役割を果たす。さらに、亜熱帯島嶼の地理的特性を活かした疾患ゲノム等の研究から環境と疾患の関係等を明らかにするとともに、国際感染症、創薬及び再生・移植医療研究等の拠点化を行い、国際医療拠点形成に向けた臨床研究機能を強化する。  
(関連する中期計画 2-1-1-2)

### 3 社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究に関する目標（大項目）

#### 〔小項目3-1-1の分析〕 中期目標7

|        |                                                                         |
|--------|-------------------------------------------------------------------------|
| 小項目の内容 | 地域の産学官が保有する多様な資源を活かし、地域を志向した教育研究を推進する産学官協働の仕組みを構築し、地域社会の発展に貢献する人材を育成する。 |
|--------|-------------------------------------------------------------------------|

○小項目3-1-1の総括

《関係する中期計画の実施状況》

| 実施状況の判定               | 自己判定の内訳（件数） | うち◆の件数※ |
|-----------------------|-------------|---------|
| 中期計画を実施し、優れた実績を上げている。 |             |         |
| 中期計画を実施している。          |             |         |
| 中期計画を十分に実施しているとはいえない。 |             |         |
| 計                     |             |         |

※◆は「戦略性が高く意欲的な目標・計画」

#### 中期目標7：4年目までの実績及び5年目以降の見込みについて

##### 【戦略的地域連携推進経費による支援事業について】

地域課題の解決や地域・産業振興に資する取組を支援する地域協働プロジェクトによる支援事業では、平成30年度には11件の事業を支援した。支援事業の1つでは、「星空案内人」を養成する講座の開設により、観光等の地域の活性化に貢献する人材（星空準案内人）を養成した。また、地元企業との連携によるIoT・ICT技術を活用した事業「多様なデータを用いた観光流動推計と交通マネジメント」が、令和元年には、連携事業者を増やし業務協力協定を締結するなど事業の拡大を図ることができた。

令和元年度には、継続事業として、4件の事業を支援し、今後の取り組みの自立化を目指している。

##### 【沖縄産学官協働人材育成円卓会議との連携による人材育成プログラムプログラムの開発・実施、初級地域公共政策士について】

平成28年度より、沖縄産学官協働人材育成円卓会議（以下、円卓会議という）の提言を受け、円卓会議の下に、県内企業、経済団体、高等教育機関、沖縄県、内閣府沖縄総合事務局等を含めたワーキンググループや研究会を設置し、教育環境、観光産業、子供の貧困など、地域課題の解決に寄与する専門人材育成を目的としたプログラムを、令元年度までに19件開発、実施してきた。

本学は、令和3年度までに21件の開発・実施を目標値としており、今後も、円卓会議との連携のもと、地域課題の解決に寄与する新たな人材育成プログラムの開発を目指す。

また、これまでに開発した目的別人材育成プログラムのうち、6科目が一般財団法人地域公共人材開発機構の資格制度「初級地域公共政策士」の認証科目に認定され、令和元年度後期から、公開授業として地域の社会人が受講し、初級地域公共政策士の資格取得を目指している。

今後は、円卓会議の中で、関係機関における資格制度の積極的活用を要請することで、資格取得者のキャリアアップに繋がるよう、沖縄県内における普及と活用を推進していく。

○特記事項（小項目 3-1-1）  
（優れた点）

・  
（中期計画 3-1-1-○）

（特色ある点）

・  
（中期計画 3-1-1-○）

（今後の課題）

・  
（中期計画 3-1-1-○）

〔小項目 3-1-1 の下にある中期計画の分析〕

≪中期計画 3-1-1-1 に係る状況≫ **中期計画 26**

|                  |                                                                                                                                           |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 中期計画の内容          | 地域の企業や自治体等のニーズに応えた人材を育成するため、地域志向のプログラムや地域創生科目の拡充を進める。また、COC 事業やトビタテ留学 JAPAN 等の地域協働事業の展開を通して、本学が育成する人材の地元定着化に取り組む。                         |
| 実施状況（実施予定を含む）の判定 | <input type="checkbox"/> 中期計画を実施し、優れた実績を上げている。<br><input type="checkbox"/> 中期計画を実施している。<br><input type="checkbox"/> 中期計画を十分に実施しているとはいえない。 |

○実施状況（中期計画 3-1-1-1）

○実施状況（中期計画 3-1-1-1）

(A) 【トビタテ！留学 JAPAN プロジェクトについて】

沖縄産学官共同人材育成円卓会議が地域協議会として実施する「トビタテ！留学 JAPAN プロジェクト（地域人材コース）」において、本学が事務局となり、プログラムの企画・運営を推進している。

本プロジェクトは、インバウンドが著しく増加している沖縄県において、県及び県内企業のニーズに応えた人材育成の一環として平成 27 年度より継続的に行われており、プロジェクトの運営に十分な寄附金を県内企業等より獲得し、実際にプロジェクト参加者が外資系観光産業界や、アジアを中心とした物流関連企業に就職するなどの成果をあげている。

(B) 【地域人材育成プログラム（知のふるさと納税など）について】

平成 21 年度から、離島出身の本学学生が中心となり、高等教育環境のない離島に赴き、現地の小中高生や保護者に対して大学で学ぶ意義やキャンパスライフなどを伝える「知のふるさと納税事業」を行っている。

第 1 期中期目標・中期計画期間から開始した本事業において、第 3 期は、かつて本事業に離島住民として参加し本学に進学した学生が、卒業後、教諭として離島に赴任し本事業の受入れ側になるなど、教育人材の循環を生み出すまでに至っている。

(C) 【地域創生科目について】

地域に求められている人材の育成に向けて、連携自治体等、事業共同機関と連携して「地域志向型リーダー」を育成するための教育プログラムの開発・実施をしている。

地域創生副専攻の対象科目にもなっている地域創生科目の拡充を行っており、平成30年度には、共通教育「琉大特色・地域創生科目」として開講している科目は、「現代沖縄地域論」「現代沖縄の地域振興」「地域課題フィールドワーク演習」「地域プロジェクト実践」（前学期集中及び後学期集中）「地域創生のためのデジタルマーケティング入門」「沖縄美ら島地域資源活用論」「地域創生のためのデジタルマーケティング実践」「沖縄の航空事業と地域振興」「地域創生のための地域商品開発入門」「沖縄の航空事業と地域振興2」及び「人生100年時代におけるキャリア開発のための働き方入門」の12科目を設置し、延べ787名が受講した。

**(D)【地域協働事業について】**

COC+事業として、これまでに雇用の創出と若者の地方定着に関する協定を締結している自治体（宮古島市、石垣市、久米島町、南城市、うるま市、宜野湾市、西原町、中城村）において協働事業を実施した。

各自治体と取り組んだ主な共同事業は下記のとおり

宮古島市：

地域課題「小さな拠点づくり」をテーマにした正課外実習

石垣市：

地域課題「離島における地域資源を生かした商品開発・雇用づくり」をテーマにした正課外実習

南城市：

地域課題「海外交流推進事業」をテーマにした正課外実習

宜野湾市：

地域課題「関係人口の拡大」をテーマにした正課外実習

西原町：

地域課題「ソーシャルビジネスプロジェクト」をテーマにした正課外実習

地域課題「文教のまちの実現（学生の町事業への参加）」をテーマにした正課外実習

中城村：

地域課題「教職正課との連動」をテーマにした正課外実習

また、戦略的地域連携推進経費により、平成30年度から、以下のとおり、地域協働事業の支援を行っている。

**【地域協働プロジェクト推進経費】**

平成30年度は、産学官等の保有する多様な資源を活用し、地域課題の解決や地域・産業振興に資するプロジェクト11件を支援した。

平成31（令和元）年度は、前年度支援した11件のプロジェクトのうち、さらなる発展や自立化が期待できる4件の事業への継続支援を実施している。

**【地域協働萌芽プロジェクト推進経費】**

令和元年度は、地域協働萌芽プロジェクト推進経費により、大学・大学院生、小中高校生、中高教員、大学教員、教育行政等が協力して、小中高校生の探究活動の支援を行う教育プロジェクトである「沖縄科学技術教育シンポジウム（OASES）2019 の開催と関連プロジェクト」を支援している。

**(E)地域志向教育プロジェクトや地域志向プロジェクトで成果を書けるものが、あるいは期末評価で成果を書けそうなものがあれば書いてください。**

【地域協働プロジェクト支援経費による成果について】

地域課題の解決や地域・産業振興に資する取組を支援する地域協働プロジェクトによる支援事業では、地域資源である星空を活用し、地元の天文関係団体と連携した「星空案内人」を養成する講座の開設により、観光等の地域の活性化に貢献する人材（星空準案内人）を34人養成した。また、地元企業との連携によるIoT・ICT技術を活用した事業「多様なデータを用いた観光流動推計と交通マネジメント」が、令和元年には、連携事業者を増やし業務協力協定を締結するなど事業の拡大を図ることができた。

○小項目の達成に向けて得られた実績（中期計画3-1-1-1）

○2020年度、2021年度の実施予定（中期計画3-1-1-1）

(A)

(B)

《中期計画3-1-1-2に係る状況》中期計画27

|                  |                                                                                                                                           |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 中期計画の内容          | 教育研究の成果を踏まえ、サテライトキャンパスを活用した学習コミュニティづくりを強化し、多様な学習ニーズに基づく学習機会や学び直しの充実を図り、地域社会を支える人材の質の向上に繋がる取組を行う。(◆)                                       |
| 実施状況(実施予定を含む)の判定 | <input type="checkbox"/> 中期計画を実施し、優れた実績を上げている。<br><input type="checkbox"/> 中期計画を実施している。<br><input type="checkbox"/> 中期計画を十分に実施しているとはいえない。 |

○実施状況（中期計画3-1-1-2）

(A) 【地域ニーズに応えた学習機会の提供について】

地域住民への学習機会の提供を拡充するために、平成28年度から、地域連携推進機構において公開講座及び公開授業と、サテライトキャンパスにおけるプログラム提供を一体的に管理し、平成31年度まで、毎年100講座、100科目以上の提供を行い、受講者数も3,000人以上を維持している。

また、公開講座についてはアンケートによるニーズ調査も実施しており、その結果を踏まえた地域・企業ニーズに応えた講座の開発・開講に至っている。

【満足度調査などをしていただければその結果を書いてください。】

(B) 【サテライトキャンパスの有効利用及びリカレント教育について】

沖縄本島内だけでなく、島嶼地域（石垣島、久米島、宮古島）にもサテライトキャンパスを拡充し、学習機会の充実化を進めている。

特に、社会人の学び直し機会の拡充を目的とした「琉球大学サテライト・イブニング・カレッジ」（平成28年度に文部科学省職業実践力育成プログラム（BP）認定）を平成28年度から開講しており、開講2年目にあたる平成29年度には前年度より2倍以上の受講生（H28:47名→H29:111名）を獲得する等、地域ニーズに応えた取組を行っている。

(C) 【起業家マインド育成／プロジェクトトライアルラボ】

沖縄県からの委託を受け、イノベーション創出を促進するような起業家マインドを有する人材を継続的に育成・輩出する取組を実施している。県内大学や高等専門学校等が取り組む起業家育成の講義や研修の支援や専門家を招聘し起業家予備軍育成のための自主講座を実施している。また、講義だけではなく、実践する場として、登録制の「プロジェクトトライアルラボ」を設置し、登録している学生等に対し、常駐コーディネーターなどがアドバイスを行うなど、起業家マインドを有する人材育成の場を提供している。

(D) 出前授業について

公開講座の一環として、本学内だけではなくサテライトキャンパスや学外施設を利用して講座を開講する出前講座を行っている。

行っている講座として、琉球大学の「与那フィールド」と国頭村の森林などを使い行っている「やんばるで学ぶ世界自然遺産学習」や「やんばる山学校」、水素エネルギーへの理解を促進するために幅広い層を対象にサテライトキャンパスにて行っている「水素のチカラ」、保健の分野である「世界遺産登録へ向けた沖縄伝統空手の健康技・三戦と尿失禁・頻尿に役立つ骨盤底筋訓練」「がん患者・家族を癒す緩和ケアの実際」などの出前講座を行っている。

(E) 地域社会を支える人材の質の向上に繋がったといえるエビデンスをかけるものがあれば書いてほしい

(中期計画 27 に対応する取組は、「地域のニーズに応えた取組だ」ということができるものばかり（受講生が増えたり、満足度が高かったりする）なので十分ではあるのですが、より PR できる要素があればほしいと思っています。)

○小項目の達成に向けて得られた実績（中期計画 3-1-1-2）

○2020 年度、2021 年度の実施予定（中期計画 3-1-1-2）

(A)

(B)

《中期計画 3-1-1-3 に係る状況》 **中期計画 28**

|                  |                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 中期計画の内容          | 地域産業の振興を担うグローバルな人材を育成するため、地域その他機関が連携する沖縄産学官協働人材育成円卓会議（県内企業、経済団体、高等教育機関、沖縄県、内閣府沖縄総合事務局等）と連携して、地域づくりのための人材養成プログラム、産学官コーディネータ等の産業振興を担う高度専門職養成プログラムや地域行政を担う自治体職員能力強化プログラム等の目的別プログラムを開発して実施する。また、沖縄産学官協働人材育成円卓会議を活用し、受講者のキャリアアップに繋がる客観的な地域認証システムを構築する。（◆） |
| 実施状況（実施予定を含む）の判定 | <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 中期計画を実施し、優れた実績を上げている。</li> <li>□ 中期計画を実施している。</li> <li>□ 中期計画を十分に実施しているとはいえない。</li> </ul>                                                                                                                   |

○実施状況（中期計画3-1-1-3）

(A) 目的別人材育成プログラムプログラムの開発・実施について

平成29年度より、沖縄産学官協働人材育成円卓会議（以下、円卓会議という）の提言を受け、円卓会議の下に、県内企業、経済団体、高等教育機関、沖縄県、内閣府沖縄総合事務局等を含めたワーキンググループや研究会を設置し、教育環境、観光産業、子供の貧困など、地域課題の解決に寄与する専門人材育成を目的としたプログラムを開発してきた。

平成29年～令和元年の間に19件の目的別人材育成プログラムを開発・実施し、令和元年11月現在、延べ〇〇名（本学学生含む）が受講している。

(B) 地域認証について

開発した目的別人材育成プログラムのうち、6科目が一般財団法人地域公共人材開発機構の資格制度「初級地域公共政策士」の認証科目に認定された。認定された科目は、令和元年度後期から、公開授業として20名の地域の社会人が受講し、初級地域公共政策士の資格取得を目指している。

○小項目の達成に向けて得られた実績（中期計画3-1-1-3）

○2020年度、2021年度の実施予定（中期計画3-1-1-3）

(A)

(B)

〔小項目 3-1-2 の分析〕 **中期目標 8**

|        |                                                                                                 |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 小項目の内容 | 沖縄の産業活性化及び持続的な自立型経済の実現に向って、学術的基盤に立脚して地域社会が抱える課題の解決や産業振興に資する取組を推進し、「行動するシンクタンク」として地域再生・活性化に貢献する。 |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|

○小項目 3-1-2 の総括

≪関係する中期計画の実施状況≫

| 実施状況の判定               | 自己判定の内訳 (件数) | うち◆の件数※ |
|-----------------------|--------------|---------|
| 中期計画を実施し、優れた実績を上げている。 |              |         |
| 中期計画を実施している。          |              |         |
| 中期計画を十分に実施しているとはいえない。 |              |         |
| 計                     |              |         |

※◆は「戦略性が高く意欲的な目標・計画」

**中期目標 8 : 4 年目までの実績及び 5 年目以降の見込みについて**

中期計画 30 の 4 年間の実績

①地域ニーズ・企業ニーズの掘り起こしについて

平成 28 年度に企業へのニーズ調査 (回答 : 776 件) を実施し、以降、その分析を元に将来的に本学保有シーズとのマッチングの可能性が見込める企業へのヒアリングの実施・検証をするなどし、産業界のニーズの把握と本学研究組織の活動へニーズを反映する仕組みを強化した。

②研究シーズの学内外への発信について

学内研究シーズを掘り起こし、HP に掲載することで学内外へ発信している。また、県内外のマッチングイベントへ研修シーズを出展している。

③地域ニーズ、企業ニーズと研究シーズとのマッチング及び沖縄の産業振興に寄与する共同研究等の推進について

平成 28 年度から地元企業や学外の専門家を交え、本学の教員・学生の持つアイデアの商品化の検討段階から販売までを継続的に支援する「琉球大学ブランド商品開発支援事業」を開始し、毎年度 2 つ以上のアイデアを実際に商品化することに成功している。

また、産学官金共同研究スタートアップ支援事業を実施し、地域や企業のニーズと本学が保有する研究成果に基づく産学官連携による共同研究を支援した。平成 28 年度～平成 30 年度に支援した 37 件のうち 6 件の事業について、沖縄県などからの新たな事業費の獲得や企業との共同研究、そのほか外部資金の獲得につながり、事業のスケールアップに寄与している。

※中期計画 30 の 5 年目以降の見込みについては、4 年間の実績を確認しつつ、中期目標達成のために重点的に取り組む事項を検討する必要がある。

(参考) 中期目標達成のための中期計画実施内容

- ①地域ニーズ、企業ニーズの掘り起こし
- ②研究シーズの学内外への発信
- ③地域ニーズ、企業ニーズと研究シーズとのマッチング
- ④沖縄の産業振興に寄与する共同研究等の推進

○特記事項（小項目 3-1-2）  
（優れた点）

- （中期計画 3-1-2-○）

（特色ある点）

- （中期計画 3-1-2-○）

（今後の課題）

- （中期計画 3-1-2-○）

〔小項目 3-1-2 の下にある中期計画の分析〕

≪中期計画 3-1-2-1 に係る状況≫ **中期計画 29**

|                  |                                                                                                                                           |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 中期計画の内容          | 「行動するシンクタンク」として地域コーディネータ機能を強化するため、地域連携推進機構に交流人材センター（仮称）を設置し、企業経営や行政運営の改善に関する専門人材を配置するとともに、企業や自治体等との連携体制を構築する。                             |
| 実施状況（実施予定を含む）の判定 | <input type="checkbox"/> 中期計画を実施し、優れた実績を上げている。<br><input type="checkbox"/> 中期計画を実施している。<br><input type="checkbox"/> 中期計画を十分に実施しているとはいえない。 |

○実施状況（中期計画 3-1-2-1）

**(A) コーディネーターの育成、登用について**

平成 29 年度は、内閣府からの委託事業「沖縄型医工連携人材の育成プログラム」において、民間企業から 2 名プロジェクトマネージャ及びサブプロジェクトマネージャとして地域連携推進機構地域連携企画室に登用し、また、沖縄県の委託事業「知的・産業クラスター支援ネットワーク強化事業」において、民間から 1 名の専門人材をコーディネーターとして同室に登用した。

平成 30 年度は、沖縄県の委託事業「知的・産業クラスター支援ネットワーク強化事業」において、民間から 1 名の専門人材をコーディネーターとして地域連携推進機構地域連携企画室に登用した。

令和元年度後学期から「初級地域公共政策士」資格取得のための科目履修プログラムを社会人向けに開講し、年度内の社会人資格取得者の輩出を予定している。

○小項目の達成に向けて得られた実績（中期計画 3-1-2-1）

○2020 年度、2021 年度の実施予定（中期計画 3-1-2-1）

(A)

(B)

《中期計画 3-1-2-2に係る状況》中期計画 30

|                  |                                                                                                                                           |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 中期計画の内容          | 地域の産業振興を推進するため、沖縄産学官連携推進協議会等と連携し、企業ニーズを掘り起こし、本学の研究成果とのマッチングを行い、沖縄の産業振興に寄与する共同研究等を推進する。                                                    |
| 実施状況(実施予定を含む)の判定 | <input type="checkbox"/> 中期計画を実施し、優れた実績を上げている。<br><input type="checkbox"/> 中期計画を実施している。<br><input type="checkbox"/> 中期計画を十分に実施しているとはいえない。 |

○実施状況（中期計画 3-1-2-2）

(A) 【企業のニーズ把握と本学シーズのマッチングについて】

平成 28 年度に企業へのニーズ調査（回答：776 件）を実施し、以降、その分析を元に将来的に本学保有シーズとのマッチングの可能性が見込める企業へのヒアリングの実施・検証をするなどし、産業界のニーズの把握と本学研究組織の活動へニーズを反映する仕組みの強化を推進している。

この取り組みにより、平成 28 年度から平成 31 年度において共同研究及び受託研究の年間受入件数は○ポイント増加（H28 年度：○件、H31 年度：○件）、外部資金の年間獲得額も○ポイント増加（H28 年度：約○円、H31 年度：約○円）している。

(B) 【地元企業との連携による地域資源を活用した商品開発について】

平成 28 年度から地元企業や学外の専門家を交え、本学の教員・学生の持つアイデアの商品化の検討段階から販売までを継続的に支援する「琉球大学ブランド商品開発支援事業」を開始し、毎年度 2 つ以上のアイデアを実際に商品化することに成功している。

(C) 【産学官金共同研究スタートアップ支援事業について】

平成 27 年度から開始した産学官金共同研究スタートアップ支援事業を引き続き実施し、平成 28 年度以降においても地域や企業のニーズと本学が保有する研究成果に基づく産学官連携による共同研究を支援している。平成 28 年度から平成 30 年度に支援した 37 件のうち 6 件の事業について、沖縄県などからの新たな事業費の獲得や企業との共同研究、そのほか外部資金の獲得につながり、事業のスケールアップに寄与している。

○小項目の達成に向けて得られた実績（中期計画 3-1-2-2）

○2020 年度、2021 年度の実施予定（中期計画 3-1-2-2）

(A)

(B)

## 重点施策推進経費事業

「沖縄の亜熱帯・島嶼型の資源を基に更なる共同研究を誘致する活動の機能強化事業」

中間報告案（2019/11）

域連携推進機構

地域連携企画室

1

2019/11/13

### 1. 事業名と概要

#### 事業名

「沖縄の亜熱帯・島嶼型の資源を基に更なる共同研究を誘致する活動の機能強化事業」

#### 概要

「地域連携推進機構と研究推進機構に所属する教職員を中心に学内横断的な戦略的チームを編成し、国内外の民間企業等からの共同研究受入額及び数を向上させるためのグローバルな産学連携機能の強化事業を実施する。また、本提案は、本学の広報戦略とも密に関連する内容であるため、広報戦略担当部署とも連携して進め、本学のブランド力創造にも貢献できるように実施する。」

## 1. 事業名と概要（続）

### 1) 実施体勢

#### (1) 本事業会議

|                |         |          |
|----------------|---------|----------|
| 地域連携推進機構（副機構長） | 産学連携部門長 | 竹村明洋（統括） |
| 地域連携推進機構       | 地域連携企画室 | 島袋亮道     |
| 研究推進機構         | 研究企画室   | 羽賀史浩     |
| 地域連携推進課        | 産学連携推進係 | 與儀あゆみ    |

#### (2) 「共同研究強化ワーキング会議」

|            |      |             |
|------------|------|-------------|
| (リーダー)     | 竹村明洋 | 産学連携部門長     |
| (パイロット)    | 島袋亮道 | 地域連携企画室     |
| (ファシリテーター) | 羽賀史浩 | 研究企画室 上席URA |

|        |           |          |
|--------|-----------|----------|
| (メンバー) | 瀬名波 出 先生  | 工学部      |
|        | 平良東紀 先生   | 農学部      |
|        | 眞榮平 孝裕 先生 | 理学部      |
|        | 石田三成 先生   | 国際地域創造学部 |
|        | 松下 正之 先生  | 医学部      |

外部資金・共同研究受入額の改善のための課題・要因分析・改善方策の立案を行うため、各学部の教員から構成される「共同研究機能強化WG」を設置。

## 1. 事業名と概要（続）

### 2) 実施業務の提案内容

- (1) 世界を視野に入れた共同研究の誘致活動の機能強化を図るため、効率的かつ効果的な共同研究誘致の活動を行うための学内横断的な戦略チーム体勢の構築
- (2) 国内外の研究マッチング機関等とのネットワーク構築及びそれらとの連携による共同研究の誘致活動
- (3) 共同研究受入の向上を前提とする学外人材とのネットワーク形成のための招聘研修会の開催
- (4) 産学連携関連ウェブサイトの再構築

## 2. 実施内容

### 1) スケジュール (実施済のみ)

7月11日の採択通知を受け、以下のスケジュールで事業推進

|           |       |     |                  |
|-----------|-------|-----|------------------|
| 第1回ミーティング | 8月1日  | (木) | ・・・PJ全体の進め方・実施内容 |
| 第2回ミーティング | 8月6日  | (火) | ・・・PJ実施内容        |
| 第3回ミーティング | 9月9日  | (月) | ・・・PJ実施内容・役割分担   |
| 第4回ミーティング | 10月1日 | (火) | ・・・PJ実施内容・進捗報告   |

共同研究機能強化WG会議 # 1 10月8日 (火) ・・・課題確認・要因分析

第5回ミーティング 10月9日 (月) ・・・PJ実施内容・進捗報告

共同研究機能強化WG会議 # 2 10月17日 (木) ・・・要因分析・方策案

共同研究機能強化WG会議 # 3 10月21日 (月) ・・・方策案・評価

第6回ミーティング 10月24日 (木) ・・・PJ実施内容・進捗報告

共同研究機能強化WG会議 報告会 10月29日 (火) ・・・方策・実施計画報告

⋮

## 2. 実施内容 (続)

### 2) 実施内容と施策

- (1) 世界を視野に入れた共同研究の誘致活動の機能強化を図るため、効率的かつ効果的な共同研究誘致の活動を行うための学内横断的な戦略チーム体勢の構築

#### 実施施策

#### ① マッチング支援のコーディネータ採用

- ・非常勤講師(コーディネータ)としての採用

#### ② オープンイノベーション機能強化

- ・上位の方針とリンクさせて進める

## 2. 実施内容（続）

### 2) 実施内容と施策

- (2) 国内外の研究マッチング機関等とのネットワーク構築及びそれらとの連携による共同研究の誘致活動

#### 実施施策

① 株式会社キャンパスクリエイトと契約締結し連携した。本学研究シーズを共有し、共同研究誘致活動を推進する。

② 共同研究誘致活動

- ・ 本学の「研究のとんがり」（亜熱帯・島嶼・海洋・健康長寿）の分野における各学部が取組の中で、民間企業との共同研究契約の誘致のモデルケースとなり得る取組を発掘する情報収集と、有望プロジェクトの支援を検討。

※第3期中期計画No.34「…国際共同研究を促進…」を受け、H29年度計画、H30年度計画に「共同研究」の実施について記載あり。 ⇒「プロジェクトシート」を手掛かりに各部局の取組の情報収集中

③ 広報活動

- ・ ビジネス誌「週刊東洋経済」（株式会社東洋経済新報社）からSDGs記事掲載の提案あり。4ページ、抜き刷り10,000部、PDFデータ渡し210万円で調整中。

+ 「共同研究機能強化WG」の教員メンバーにて抽出された課題・要因・改善方策をチーム内で検討し、実施内容に加える。

## 2. 実施内容（続）

### 2) 実施内容と施策

- (3) 共同研究受入の向上を前提とする学外人材とのネットワーク形成のための招聘研修会の開催

検討中

+ 「共同研究機能強化WG」の教員メンバーにて抽出された課題・要因・改善方策をチーム内で検討し、実施内容に加える。

## 2. 実施内容（続）

### 2) 実施内容と施策

#### (4) 産学連携関連ウェブサイトの再構築

- ・ 企業への見せ方、分かりやすい内容等の観点から「琉球大学研究技術マッチングサイト」改修中。変更後は「琉球大学研究技術&SDGs事例マッチングサイト」となり、本学研究技術シーズがSDGsと紐づけられ学外公開される。



## 重点施策推進経費 事業提案書

|      |                                                                                                                                                                                    |      |  |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--|
| 事業名  | 沖縄の亜熱帯・島嶼型の資源を基に更なる共同研究を誘致する活動の機能強化事業                                                                                                                                              | 事業番号 |  |
| 事業概要 | <p>地域連携推進機構と研究推進機構に所属する教職員を中心に学内横断的な戦略的チームを編成し、国内外の民間企業等からの共同研究受入額及び数を向上させるためのグローバルな産学連携機能の強化事業を実施する。また、本提案は、本学の広報戦略とも密に関連する内容であるため、広報戦略担当部署とも連携して進め、本学のブランド力創造にも貢献できるように実施する。</p> |      |  |

| 実施体制  |                         |                                   |
|-------|-------------------------|-----------------------------------|
| 氏名    | 所属部局・職名                 | 役割分担                              |
| 竹村 明洋 | 地域連携推進機構・副機構長（産学官連携部門長） | 本取組における、地域連携推進機構と研究推進機構の産学連携活動の統括 |
| 島袋 亮道 | 地域連携推進機構・特命准教授          | 「2. 事業期間内に実施する取組の具体的内容」の1)から4)の実施 |
| 羽賀 史浩 | 研究推進機構・上席 URA           | 「2. 事業期間内に実施する取組の具体的内容」の1)から4)の実施 |

事業目的 適宜、図表等を用いてわかりやすく記載すること。

1. 本学の機能強化との関連（中期目標・中期計画、新しい評価・資源配分の仕組みへの寄与等を記載下さい）

### （1）総論

我が国の長期的な人口減による生産者人口の減少、大学進学率の上昇、経済活動や文化活動のグローバル化の進行、科学技術の更なる発展などにより、大学に対する社会の期待も変容している。その状況を踏まえ、文部科学省も各国立大学法人に対して変革を求めている。また、従来の運営費交付金以外の外部資金の自己調達による運営が強く求められている。

運営費交付金においては平成 16 年の法人化以降、10 年以上にわたって毎年 1%以上の割合で減少しており、外部資金獲得増のための施策の実施が国立大学法人の喫緊の課題となっている。その中、文部科学省と経済産業省は、民間企業との共同研究増加のための指針として、平成 28 年 11 月 30 日付で「産学官連携による共同研究強化のためのガイドライン」を取りまとめ、国立大学法人や国立研究開発法人による「本格的な共同研究」の必要性等を盛り込んだ指針を示し、これにより産学官の集中的な取組による指針の実効性確保と共同研究の拡大・深化を目指している。

本学は、本学が有する研究・教育資源と沖縄の有する亜熱帯・島嶼型の資源を基に、国内外の民間企業等と共同研究を実施する事で、受託研究や寄付金等の源泉である研究・教育シーズを創出している。研究・教育シーズは、本学の資産であり本学の持続的発展の源泉であるとともに、本学が行う地域貢献活動の源泉でもある。

ところが、本学の共同研究受入額は、受託研究受入額と比較した場合、少額となっており低迷している。文科省統計によると、本学における平成 28 年度の共同研究受入額は 1 億 3,334 万円、受託研究受入額は 9 億 4,078 万円、平成 29 年度の共同研究受入額は 1 億 4,491 万円、受託研究受入額は 11 億 5,443 万円となっている。共同研究受入額と受託研究受入額を比較すると、平成 28 年度の共同研究受入額は、受託研究受入額の約 14.1%、平成 29 年度は約 12.5%となっており、いずれの年度においても、受託研究受入額と比べ、共同研究受入額は少額となっている。なお、平成 29 年度の受託研究受入額が前年度よりも顕著に向上しているが、これは、本学がこれまで培ってきた研究実績の社会還元活動が功を奏している表れとして捉える事ができる。ただし、それら受託研究受入の源泉でもある研究・教育シーズを創出する共同研究の低迷には、大きな課題が残る。

また重点支援①を選択した同規模の他の地方大学との比較においても、本学の共同研究受入額は少額であり、低迷している実態が顕著に表れている。本学と鹿児島大学における共同研究受入額を比較すると、平成 28 年度の本学の共同研究受入額は、同年の鹿児島大学の 48.5%、平成 29 年度の本学の共同研究受入額は、45.1%となっており、他大学との比較においても本学の共同研究受入額は少額で低迷している。

伸びの弱い共同研究受入額を増額させ、将来の受託研究等を生み出す研究シーズの拡充に着手することが、研究力・教育力の強化を持続的に果たすうえで重要であり、そのための共同研究の誘致活動の機能強化が、本学の喫緊の課題である。

### （2）第 3 期中期目標・中期計画における取組の位置づけ

本学は、平成 28 年度から開始されている第 3 期中期目標期間において、「地域活性化の中核的拠点となるべく社会変革にしなやかに対応できるイノベーティブな大学としての歩みを加速する」事を方針として掲げている。また、その方針の中においては、「③ 産学

官連携と国際連携による組織的な連携を通じて多様な力を結集し、大学資源を有効に活用して、教育研究力をグローバルに展開する」と定めている。その意味において、本取組は、地域連携推進機構と研究推進機構が組織的に連携し、本学のこれまでの卓越した亜熱帯・島嶼に関連する研究成果と、沖縄の持つ豊かな研究フィールドの双方を大学資源として戦略的に有効活用し、グローバルな視点に立った共同研究誘致活動を実施する事で、国際的な共同研究受入額及びその数を向上させる取組である。本取組は、本学の研究・教育力をグローバルに展開させる取り組みであり、第3期中期目標期間中の方針に合致するものである。

また、上記の国際的な共同研究の成果を基に、産学連携活動の一環として事業創出の支援まで実施する事で、本学は地域に大きな貢献を果たす事が可能となる。島嶼地域のニーズを起点としその課題解決を図る地域連携推進機構の取組と、島嶼の地域的特性を生かしたユニークな研究の活性化や研究成果の社会還元を支援する研究推進機構の取組は、民間事業創出（プロデュース）の観点から見れば、表裏一体の関係にあり、本来は連動して行われるべき取組である。それら両機構の取組を、地域貢献やその源となる研究成果を創出する研究企画の観点から融合させ、連携を強化し共に活動することは、研究成果の社会実装や事業創出の動きを加速させ、本学の後継の教育・研究成果の連鎖を生む力となる。

また国における議論では、「民間資金獲得等に応じて運営費交付金の配分のメリハリ付け等によるインセンティブの仕組みの導入」や、ボーダーレスな挑戦の必要性として、国外企業とも積極的に連携して共同研究を進めるべきとする、イノベーション創出の連鎖を起こす「イノベーション・エコシステム」の仕組みの構築が、大学に期待されている。

本取組によって本学は、グローバルな視野に立ち、地域の国際競争力を増すイノベーションを目指し、地域と密着した持続可能な大学ブランドを志向していくべきである。

### （3）新しい評価・資源配分の仕組みへの寄与等について

上記までで述べたように、本学は、その強み・特色のある分野で、世界的な視野に立ち共同研究受入の向上を目指すべきである。そのためには、地域連携推進機構や研究推進機構といった部局の枠を超え、新しく学内横断的な産学連携活動の体勢を整備する事が必要である。第3中期計画の中間地点である平成31年度以降から、将来の第4期中期目標・中期計画も見据え、本学の地域貢献力や、その源泉である研究力・教育力を持続的に強化していくために、よりグローバルな視野に立った学内横断的な産学連携活動をその中核的な成長戦略の中心に据えるべきである。

## 2. 事業期間内に実施する取組の具体的内容

上述した項目 1. の内容を踏まえ、具体的には以下の活動を行う。

1) 世界を視野に入れた共同研究の誘致活動の機能強化を図るため、効率的かつ効果的な共同研究誘致の活動を行うための学内横断的な戦略チーム体勢の構築

2) 国内外の民間企業のニーズを把握している研究マッチング機関等とのネットワークの構築

・国内外の研究マッチング機関等とのネットワーク構築及び、それらとの連携による共同研究の誘致活動を行う。

3) 共同研究受入の向上を前提とする学外人材とのネットワーク形成のための招聘研修会の開催

4) 産学連携関連ウェブサイトの再構築費用（一部、外部業者委託）

・本学の研究教育シーズを広く国内外の関係機関に周知するため、及びこれらシーズに基づくグローバルな産学連携活動の円滑な実施を図るため、研究教育シーズのデータベースの整理や更新、及び産学連携活動に関連する本学ウェブサイトの再構築を、専門的業者と連携し実施する。

※1 2019年5月現在、本学は国内1か所（東京オフィス）、国外5か所（台湾〔台北市〕、米国ハワイ州〔ホノルル市〕、ラオス国〔ビエンチャン市〕、ドイツ〔デュッセルドルフ市〕、ブラジル〔サンパウロ市〕）にサテライトオフィスを設置している。本提案が採択に至った場合には、それらの拠点を積極的に活用して、共同研究の誘致活動を実施する。その際には、本学の研究・教育及び研究開発事例等を用い、具体的に提示する。

※2 本学のサテライトオフィスの積極的活用とあわせ、地方自治体（例：沖縄県庁）の有する海外事務所等も活用し、連携しながら誘致活動を実施する。

※3 本提案は、本学の広報戦略とも密に関連する内容である。そのため、広報戦略担当部署とも連携し、本学のブランド力創造にも貢献できるよう実施する。

## 3. 本事業により期待される成果（可能な限り、数値目標等も含めて記載下さい）

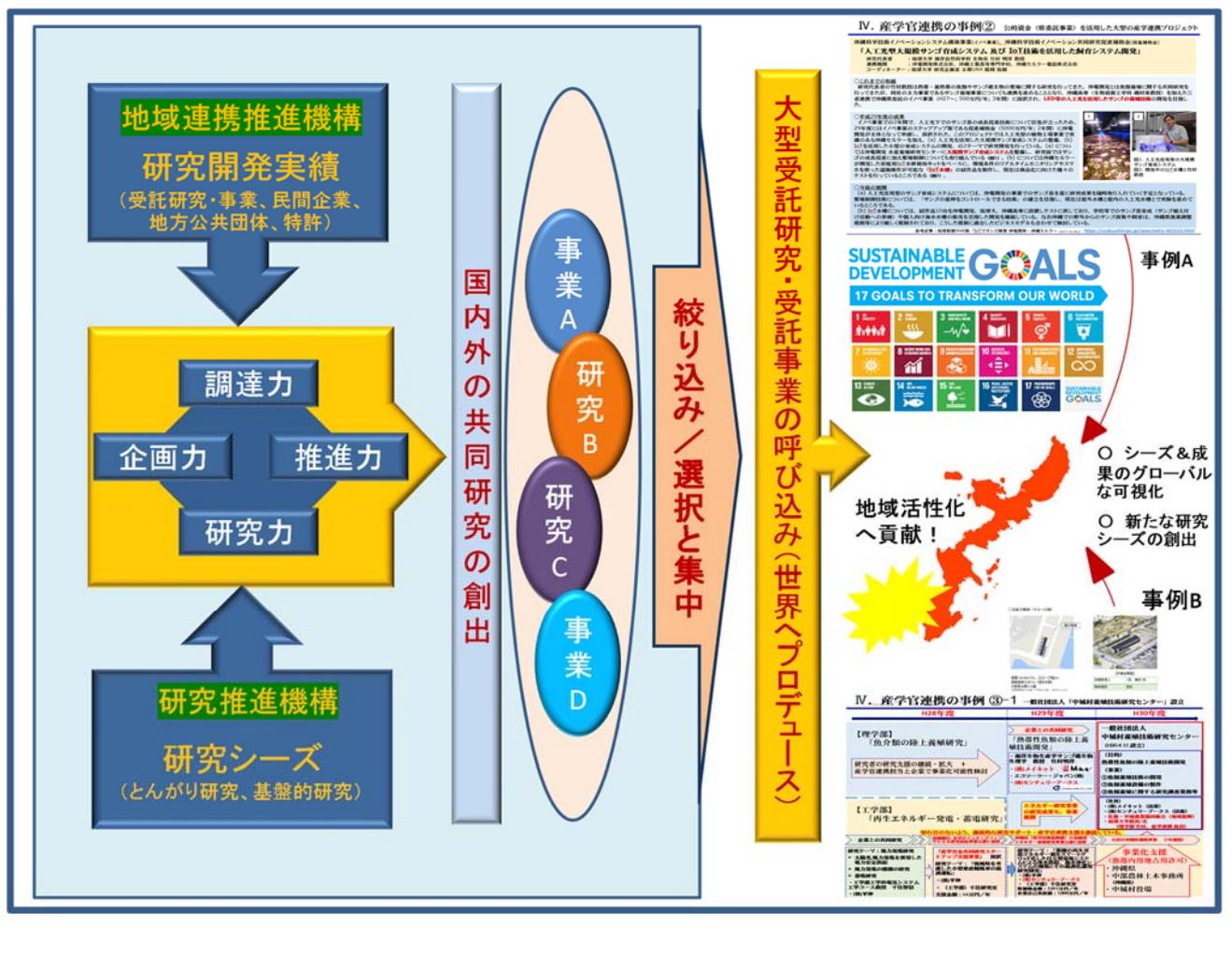
共同研究受入額（国、独法除く）及び受入数の増加

(2019年度所要額明細)

| 積算内訳 | 金額(千円) | 備考                                        |
|------|--------|-------------------------------------------|
| 謝金   | 1,000  | 「2. 事業期間内に実施する取組の具体的内容」の1) から4) に必要な講師謝金等 |
| 旅費   | 2,000  | 「2. 事業期間内に実施する取組の具体的内容」の1) から4) に必要な旅費等   |
| 備品費  |        |                                           |
| 消耗品費 |        |                                           |
| 印刷費  |        |                                           |
| 外注費① | 3,500  | 学外研究マッチング機関への業務委託費用                       |
| 外注費② | 3,500  | 産学連携関連ウェブサイト再構築業務                         |
| 計    | 10,000 |                                           |

(その他)

本提案の構想イメージ全体図



## 商標「琉球大学ウコン」の方向性について

### 【現状】

本学では、ウコンに関する商標を 3 つ保有している。

- ・ 琉球大学ウコン（マーク） 平成 21 年 12 月 4 日商標登録
- ・ 琉大ゴールド（標準文字） 平成 25 年 11 月 22 日商標登録
- ・ 琉大壮金（標準文字） 平成 26 年 11 月 28 日商標登録
- ・ 琉大ゴールドと琉大壮金の商標はそれぞれウコンの品種に紐づいている。  
（商標）琉大ゴールド→（品種）琉大ゴールド  
（商標）琉大壮金→（品種）琉大 CL-2 号

今回、琉球大学ウコンの商標権が令和元年 12 月 4 日で終了するため、更新するかどうかが判断する必要がある。（更新料を支払うことで、5/10 年間権利を存続させることが可能。）

### 【商標登録の経緯】

琉球大学ウコン（マーク）はもともと新品種「琉大ゴールド」の普及と品質維持、琉大ブランドの確立を図るシステムを構築する目的で商標登録したが、「琉大ゴールド」の品種登録後、「琉大ゴールド」を使用した多くの企業から多様な製品がつくられることとなった。加工品については品種名称の保護が及ばないことから、品種名称を保護するために「琉大ゴールド」の商標登録を行った。その後、別品種のウコンが開発され、品種開発者が「琉大壮金」という名称を希望したため新たに商標を登録した。

### 【検討事項】

- ・ 商標「琉球大学ウコン」（マーク）を更新しないこととしてもよいか？
- ・ 今後、新品種が開発された際、その名称を商標として保護するかどうかは利用方法なども考慮する必要があるため、その都度検討することとする。

### （参考）

- ・ 更新登録申請料：5 年分 22,000 円×区分数、10 年分 38,800 円×区分数  
※特許事務所で手続きする場合、上記に事務手数料が加算される。  
琉球大学ウコンの場合は 7 区分で商標登録しているため、更新登録申請料は  
5 年分：154,000 円、10 年分：271,600 円

琉球大学ウコン商標登録の経緯

|       | 琉球大学ウコン                                                                                                                                                                                     | 琉大ゴールド                                                                                                                                                                               | 琉大壮金                                                                                                                                                        |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成19年 |                                                                                                                                                                                             | H19年3月2日品種登録出願                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                             |
| 平成20年 | H20年度第9回発明審査委員会(H20年12月18日開催)にて審議。<br>本学農学部で開発したウコン「琉大ゴールド」(現在、品種登録出願中)を栽培農家に普及をはかりつつ、出荷時に一定水準のクルクミン含有量を有するものだけにマークを付与し、品質の維持、琉大ブランドの確立を図るシステムを構築することを目的とするために「琉球大学ウコン」のマークを商標出願することが了承された。 |                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                             |
| 平成21年 | H21年3月19日商標出願<br>(代表:知的財産部門長)                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                             |
|       | H21年12月4日商標登録<br>(代表:知的財産部門長)                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                             |
| 平成22年 |                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                             |
| 平成23年 |                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                             |
| 平成24年 |                                                                                                                                                                                             | H24年2月29日品種登録                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                             |
| 平成25年 | H23年2月1日～H25年1月31日<br>商標実施許諾契約((株)しゃりや)<br>実施料<br>24年:64,894円<br>25年:127,992円                                                                                                               | H25年1月18日商標出願<br>H24年度第10回発明審査委員会(H25年1月24日開催)において審議。<br>「琉大ゴールドは多くの企業から多様な製品がつくられているが、加工品については育成者権の名称保護が及ばない。名称を保護するためにも商標出願が必要であると考え。」「『琉大ウコン』の商標もあるがアピール力が弱い」とのことで商標出願したことが了承された。 |                                                                                                                                                             |
|       |                                                                                                                                                                                             | H25年11月22日商標登録<br>(代表:知的財産部門長)                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                             |
| 平成26年 |                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                      | H26年度第2回発明審査委員会(H26年5月27日開催)において審議。<br>品種・商標について「品種出願より先に商標登録することで品種名称の保護をする必要がある」とのことで商標・品種出願することが了承された。<br>H26年6月18日商標出願<br>H26年11月28日商標登録<br>(代表:本村恵二先生) |
| 平成27年 |                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                      | H27年7月29日品種登録出願<br>※品種名:琉大CL-2号                                                                                                                             |
| 平成28年 |                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                             |
| 平成29年 |                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                             |
| 平成30年 |                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                             |
| 平成31年 |                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                             |

(190) 【発行国・地域】日本国特許庁(JP)  
(450) 【発行日】平成22年1月12日(2010.1.12)  
【公報種別】商標公報  
(111) 【登録番号】商標登録第5284442号(T5284442)  
(151) 【登録日】平成21年12月4日(2009.12.4)  
(540) 【登録商標】



(500) 【商品及び役務の区分の数】7  
(511) 【商品及び役務の区分並びに指定商品又は指定役務】  
第2類 ウコンを主原料とする染料  
第3類 ウコンを含有する化粧品, ウコンを含有する植物性天然香料, ウコンを含有する調合香料, ウコンと製油からなる食品香料  
第29類 ウコンを含有する加工野菜, ウコンを主材料とする粒状・粉状・顆粒状・カプセル状・スティック状・液状・クリーム状・ペースト状・錠剤状の加工食品  
第30類 ウコンを含有する茶, ウコンを含有する香辛料, ウコンを含有する食用粉類  
第31類 ウコン, ウコンの種子, ウコンの苗・苗木  
第32類 ウコンを含有する清涼飲料水, ウコンを含有する果実飲料, ウコンを含有する飲料用野菜ジュース  
第33類 ウコンを含有する薬味酒  
【国際分類第9版】  
(210) 【出願番号】商願2009-24703(T2009-24703)  
(220) 【出願日】平成21年3月19日(2009.3.19)  
(732) 【商標権者】  
【識別番号】504145308  
【氏名又は名称】国立大学法人 琉球大学  
【住所又は居所】沖縄県中頭郡西原町字千原1番地  
(591) 【色彩】書面手続きによるものであるので色彩については原本を参照して下さい  
【法区分】平成18年改正  
【審査官】前山 るり子  
(561) 【称呼(参考情報)】ユウアアルターメリックリュウキューダイガクウコン、ユウアアルターメリック、リュウキューダイガクウコン、リュウキューダイガク  
【検索用文字商標(参考情報)】UR TURMERIC、琉球大学ウコン  
【類似群コード(参考情報)】  
第2類 03A01

第 3 類 0 4 C 0 1、0 4 D 0 1

第 2 9 類 3 2 F 0 4、3 2 F 1 5

第 3 0 類 2 9 A 0 1、3 1 B 0 1、3 3 A 0 1

第 3 1 類 3 2 D 0 1、3 3 C 0 1、3 3 D 0 1

第 3 2 類 2 9 C 0 1、3 2 F 0 4

第 3 3 類 2 8 A 0 4

( 5 3 1 ) 【ウィーン分類 ( 参考情報 ) 】 5 . 3 . 1 1 ; 5 . 3 . 1 3 ; 5 . 3 . 1 6 ; 5 . 1 1 . 1 ; 2 6 . 1 . 1 ; 2 6 . 1 . 3 ; 2 6 . 1 . 4 ; 2 6 . 1 . 1 5 ; 2 6 . 1 . 2 1

(190) 【発行国・地域】日本国特許庁(JP)  
(450) 【発行日】平成25年12月24日(2013.12.24)  
【公報種別】商標公報  
(111) 【登録番号】商標登録第5631677号(T5631677)  
(151) 【登録日】平成25年11月22日(2013.11.22)  
(541) 【登録商標(標準文字)】

琉大ゴールド

(500) 【商品及び役務の区分の数】4  
(511) 【商品及び役務の区分並びに指定商品又は指定役務】

第5類 薬剤(農薬に当たるものを除く。), サプリメント, 栄養補助食品, 食餌療法用飲料, 乳幼児用飲料, 栄養補助用飼料添加物(薬剤に属するものを除く。)

第29類 乳製品, 豆乳

第30類 茶, コーヒー, 菓子, 調味料, 香辛料, 穀物の加工品, 食用粉類

第32類 ビール, 清涼飲料, 果実飲料, 飲料用野菜ジュース, 乳清飲料

【国際分類第10版】

(210) 【出願番号】商願2013-2724(T2013-2724)

(220) 【出願日】平成25年1月18日(2013.1.18)

(732) 【商標権者】

【識別番号】504145308

【氏名又は名称】国立大学法人 琉球大学

【住所又は居所】沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

(740) 【代理人】

【識別番号】100152180

【弁理士】

【氏名又は名称】大久保 秀人

(740) 【代理人】

【識別番号】230115473

【弁護士】

【氏名又は名称】島袋 勝也

【法区分】平成23年改正

【審査官】津金 純子

(561) 【称呼(参考情報)】リュウダイゴールド、リュウダイ

【検索用文字商標(参考情報)】琉大ゴ-ルド

【類似群コード(参考情報)】

第5類 01B01、32F15、32F16、32F17、33B01

第29類 31D01、32F05

第30類 29A01、29B01、30A01、31A01、31A02、31A03、31A04、31A05、31B01、32F03、33A03

第32類 28A02、29C01、31D01

(190) 【発行国・地域】日本国特許庁(JP)  
(450) 【発行日】平成27年1月6日(2015.1.6)  
【公報種別】商標公報  
(111) 【登録番号】商標登録第5721520号(T5721520)  
(151) 【登録日】平成26年11月28日(2014.11.28)  
(541) 【登録商標(標準文字)】

琉大壮金

(500) 【商品及び役務の区分の数】6  
(511) 【商品及び役務の区分並びに指定商品又は指定役務】

第3類 セッケン類, 歯磨き, 化粧品, 香料, 薫料

第5類 薬剤(農薬に当たるものを除く。), サプリメント, 栄養補助食品, 食餌療法用飲料, 食餌療法用食品, 乳幼児用飲料, 乳幼児用食品, 栄養補助用飼料添加物(薬剤に属するものを除く。)

第29類 食用油脂, 乳製品, 冷凍野菜, 加工野菜及び加工果実, 豆乳, カレー・シチュー又はスープのもと

第30類 茶, 菓子, パン, 調味料, 香辛料, アイスクリームのもと, シャーベットののもと, 穀物の加工品, 食用粉類

第31類 野菜, 糖料作物, 果実, 種子類, 草, 苗, 苗木, 花

第32類 ビール, 清涼飲料, 果実飲料, 飲料用野菜ジュース, 乳清飲料

【国際分類第10版】

(210) 【出願番号】商願2014-50584(T2014-50584)

(220) 【出願日】平成26年6月18日(2014.6.18)

(732) 【商標権者】

【識別番号】504145308

【氏名又は名称】国立大学法人 琉球大学

【住所又は居所】沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

(740) 【代理人】

【識別番号】100152180

【弁理士】

【氏名又は名称】大久保 秀人

【法区分】平成23年改正

【審査官】箕輪 秀人

(561) 【称呼(参考情報)】リュウダイソーキン、ルダイソーキン

【検索用文字商標(参考情報)】琉大壮金

【類似群コード(参考情報)】

第3類 04A01、04B01、04C01、04D01、04D02

第5類 01B01、32F15、32F16、32F17、33B01

第29類 31C01、31D01、32D01、32F04、32F05、32F10

第30類 29A01、30A01、31A01、31A02、31A03、31A04、31A05、31B01、31D01、32F03、33A03

第31類 32D01、32D02、32D03、32E01、33C01、33D01

第32類 28A02、29C01、31D01

各学部等の長 殿

地域連携推進機構長  
(公印省略)

### 令和二年度公開講座の実施について（依頼）

平素より地域連携推進機構の運営にご理解ご協力いただき感謝申し上げます。さて、令和二年度につきましても、別紙1「全学的に実施する公開講座等の実施方針」に基づき地域連携推進機構主催の公開講座を実施することといたしましたので、ご依頼いたします。

一般市民の生活課題や教養の涵養に資する「一般コース」および専門分野における資格取得や職能開発・向上に寄与する講座を提供する「専門コース」の枠で公開講座を募集いたしますので、今年度に引き続き本機構主催の公開講座の主旨をご理解いただき、次年度もご協力を賜りますようお願い申し上げます。

各部局等におかれては一般コース2講座以上、専門コース1講座以上のご提供をお願いいたします（別紙1・第4条第2項参照）。また、講座の内容及びテーマの適正については各部局等においてご精査の上ご提出頂きますようお願い申し上げます。

なお、受講者から講座当日に現金徴収を行っていた材料費や保険料等につきましては、次年度より受講料と併せて口座振込にする予定をしております。それに合わせて公開講座実施計画書の様式が新しくなっておりますので、記入例や留意事項をご確認の上、新しい様式にてご提出ください。（別紙4）

また、新規での公開講座や琉球大学サテライトキャンパスでの公開講座の実施を検討されている先生方におかれましては、講座の形式・内容に関するご相談を随時承りますので、下記の事務局までご連絡ください。

琉球大学サテライトキャンパスについての詳しい内容については、別紙2及び別紙3をご覧ください。

### 記

○提出資料：令和二年度公開講座実施計画書（別紙4）

（電子データでの提出をお願い致します。）

○提出期限：令和元年12月23日（月）

※様式は別途メールにて各学部等事務担当者宛に送付いたします。

○問合・提出先：

（公開講座全般）地域連携推進課地域連携推進係 宮平（内線：8019）

（琉球大学サテライトキャンパスに関すること） 赤嶺（内線：9058）

○参考

（別紙5）平成31年度公開講座一覧

（別紙6）公開講座実施計画におけるQ&A

平成30年3月23日  
地域連携推進機構長決定

## 全学的に実施する公開講座等の実施方針

### 1. 趣旨

この方針は、琉球大学における公開講座等に関する規程（以下「公開講座等規程」という。）第7条の規定に基づき、公開講座等規程第3条第1項の公開講座の実施に関し、必要な事項を定める。

### 2. 目的

本学の教育・研究機能を広く社会に開放し、地域社会の発展に資する学習機会を充実させることで人々の教養や生活文化の向上、健康や社会福祉の増進、職業等に関する専門的知識や技術の革新に貢献することを目的に、地域社会の情勢を鑑み全学的見地から公開講座を企画・実施する。

### 3. 公開講座の要件

(講座の名称)

(1) 上記「2. 目的」を達成するため、地域連携推進機構が各部局等と共同で企画・実施する公開講座を琉球大学公開講座と称する。

(講座の種類)

(2) 琉球大学公開講座は、広く学術資源を提供することで人々の教養や生活文化の向上、健康や社会福祉の増進を図るための「一般コース」と、より高度な内容や専門職・職業人などを対象に専門的知識や技術の修得、再教育の機会の充実を図る「専門コース」とする。なお、琉球大学公開講座は、必要に応じて自治体や公共的団体等からの共催や後援を得ることができ、これを「連携講座」とする。ただし、琉球大学が共催や後援となる講座を琉球大学公開講座として実施することは認めない。

(内容)

(3) 講座の内容は上記の「2. 目的」に添うものとするとともに、企画・実施に際しては提供部局等ならびに琉球大学の学術資源の公開として相応しい内容とする。なおその場合であっても、講座の内容は中立を保ち、特定の宗教や宗派、政党や政治団体等への勧誘や奨励にならないよう留意が必要である。また講座が特定人に収益を帰属させたり、特定企業の広告・宣伝、販売の促進といった営利の追求にならないよう留意が必要である。

(対象)

(4) 琉球大学公開講座の対象は市民一般とし、講座の内容に応じて自由かつ的確に設定するものとする。

(担当講師)

(5) 琉球大学公開講座を担当する講師は原則として本学の教職員（常勤）とするが、上記「2. 目的」の達成のために特に必要とされる場合は、非常勤教職員や学外者も講師として加えることができる。ただし、招聘にかかる旅費は支出しない。

(回数・時間数)

(6) 各講座の回数や時間数は、原則として各講座の目的に応じて設定することができる。総時間数が10時間以内、1回2～3時間で3～5回程度の開催を1つの目安とするが、講座の内容や目的によっては1回みの開講や長期にわたる継続的な開催も可とする。

(会場)

(7) 会場は原則として学内とするが、講座の目的や内容によっては学外で開催することもできる。なお、特に当該の学習内容や学習機会が得がたいと判断される場合には離島地域での開催も認められるほか、サテライトキャンパスを用いた双方向型同時配信による講座の実施は特に推奨されるものである。

(経費)

(8) 講座を実施するにあたって必要となる経費については、講座内容・募集定員等を勘案し、必要最小限の額にとどめるものとする。また、講座の開催に際し受講者の利益に帰属する教材等（保険料含）は原則として受益者負担（受講者からの実費徴収）とする。

(受講料)

(9) 受講料の設定は「国立大学法人琉球大学料金規程」によるものとする。

#### 4. 講座の募集・応募

(1) 講座の募集は地域連携推進機構長（以下、「機構長」という）が部局等の長に対し文書をもって依頼するものとする。募集は年1回行うが、必要に応じて追加の応募をすることができる。

(2) 応募は各部局等単位で行い、各部局等の学術資源の公開として相応しい講座を「一般コース」2講座以上、「専門コース」1講座以上とする。

#### 5. 講座計画の審議及び決定

(1) 当該年度に実施する講座及び上記「3. 公開講座の要件」にかかる講座の詳細については、提出された各実施計画案をもとに地域連携推進機構運営会議（以下、「運

営会議」という)で審議し決定する。

- (2) 実施計画案の修正・変更については、機構長、関係部局等の長等、担当予定講師等で協議し、その結果をもとに生涯学習推進部門会議で審議し決定する。
- (3) 当該年度に実施する公開講座の詳細が決定した場合は文書をもって各部局等の長に通知するものとする。
- (4) なお、本機構が企画する講座の実施計画案についても、運営会議において審議するものとする。

## 6. その他

その他琉球大学公開講座の企画・実施・評価に必要となる事項については、運営会議において適宜審議し決定するものとする。

### 附 則

- 1 この実施方針は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 琉球大学公開講座実施方針（平成28年11月28日地域連携推進機構長決定）は、廃止する。

## (別紙 2)

琉球大学サテライトキャンパス及びサテライト教育システム等について

### 1. 琉球大学サテライトキャンパス

琉球大学サテライトキャンパスは、自治体の協力により、既存の社会教育施設等の一室を共用にて借用し、本学の公開講座の開催等に利用しています。

平成27年度までに県内6カ所にサテライトキャンパスを設置しました。

- ① 那覇市ほしぞら公民館（那覇市安里2-1-1）
- ② 宮古島市未来創造センター（宮古島市平良字東仲宗根 807 番地）
- ③ 石垣市立図書館（石垣市浜崎町1-1）
- ④ 久米島町具志川農村環境改善センター（久米島町字仲泊 7 3 0）
- ⑤ 大宜味村農村活性化センター（大宜味村字根路銘 1 3 7 3）
- ⑥ 国頭村民ふれあいセンター（国頭村辺土名 1 1 2）

### 2. サテライト教育システム

琉球大学（地域国際学習センター301講義室、共通教育棟1-118教室及び光回線が接続されている教室等【大学会館、法文新棟215教室等】）と琉球大学サテライトキャンパスをインターネットにより双方向で結ぶビデオ会議システムです。

### 3. 琉球大学サテライトキャンパスの活用例

現在、琉球大学サテライトキャンパスは、以下のとおり利用しております。

これら以外の活用を想定する場合には、本件担当までご相談ください。

- ① 琉球大学サテライトキャンパスでの出前講座の実施
- ② 琉球大学（地域国際学習センター301講義室、共通教育棟1-118教室及び光回線が接続されている教室等【大学会館、法文新棟215教室等】）で実施する公開講座等をサテライト教育システムを活用し、サテライトキャンパスへインターネット配信
- ③ 琉球大学サテライトキャンパスで実施する出前講座等をサテライト教育システムを活用し、他のサテライトキャンパスへインターネット配信 等

※サテライト教育システムによる配信を行う場合には、機器操作を行う事務員が1名～2名程度講座等につきます。本事務員は、配信のための機器の設置・片付け、カメラワーク等を担当します。

### 4. 予算措置

公開講座等の実施に係るサテライトキャンパスへの配信等に係る経費及びサテライトキャンパス借料の負担はございません。（サテライトキャンパスへの講師派遣旅費や外部講師への謝金等は、地域連携推進機構主催の公開講座に係る予算からの支出となります。）

### 1 琉球大学サテライトキャンパス

琉球大学では、自治体と連携・協力し地域を志向した教育・研究・社会貢献、地域の再生・活性化の拠点となる大学の形成を目的とした「地（知）の拠点整備事業」（文部科学省）に申請し、「ちゅら島の未来を創る知の津梁（かけ橋）（以降「ちゅら島事業」という）」事業が平成25年度に採択されました。

ちゅら島事業では、県内の島嶼部を含む複数の地域に琉球大学サテライトキャンパスを設置し、「能力強化プログラム（自治体職員の政策形成能力強化等）」や「学び直しの機会拡充プログラム（公開講座等の実施）」を提供することで、地域との共同による地域人材の育成を推進し、大学と地域がより結びついた学びのコミュニティモデルの構築を推進することを目指して平成25年度から平成27年度にかけて以下の6カ所の施設内に「琉球大学サテライトキャンパス」を設置しました。

- (1) 那覇キャンパス：那覇市牧志駅前ほしぞら公民館（那覇市安里2丁目1番1号）
- (2) 宮古島キャンパス：宮古島市未来創造センター（宮古島市平良字東仲宗根807番地）
- (3) 石垣キャンパス：石垣市立図書館（石垣市浜崎町1丁目1番地）
- (4) 久米島キャンパス：久米島町具志川農村環境改善センター（久米島町字仲泊730番地）
- (5) 国頭キャンパス：国頭村民ふれあいセンター（国頭村辺土名112）
- (6) 大宜味キャンパス：大宜味村農村活性化センター（大宜味村字根路銘1373）



那覇キャンパス



宮古島キャンパス



石垣キャンパス



久米島キャンパス



国頭キャンパス



大宜味キャンパス

### 2 サテライト教育システム（別添1）

琉球大学サテライトキャンパスには、当該サテライトキャンパスと本学（地域国際学習センター301講義室及び共通教育棟118教室）とをインターネットを活用してつなぐ「サテライト教育システム（ビデオ会議システム）」を設置しました。これにより、琉球大学主催の公開講座や公開授業、シンポジウム等を各サテライトへライブ配信したり、本学と各サテライトとの双方向でのやりとりが可能です。

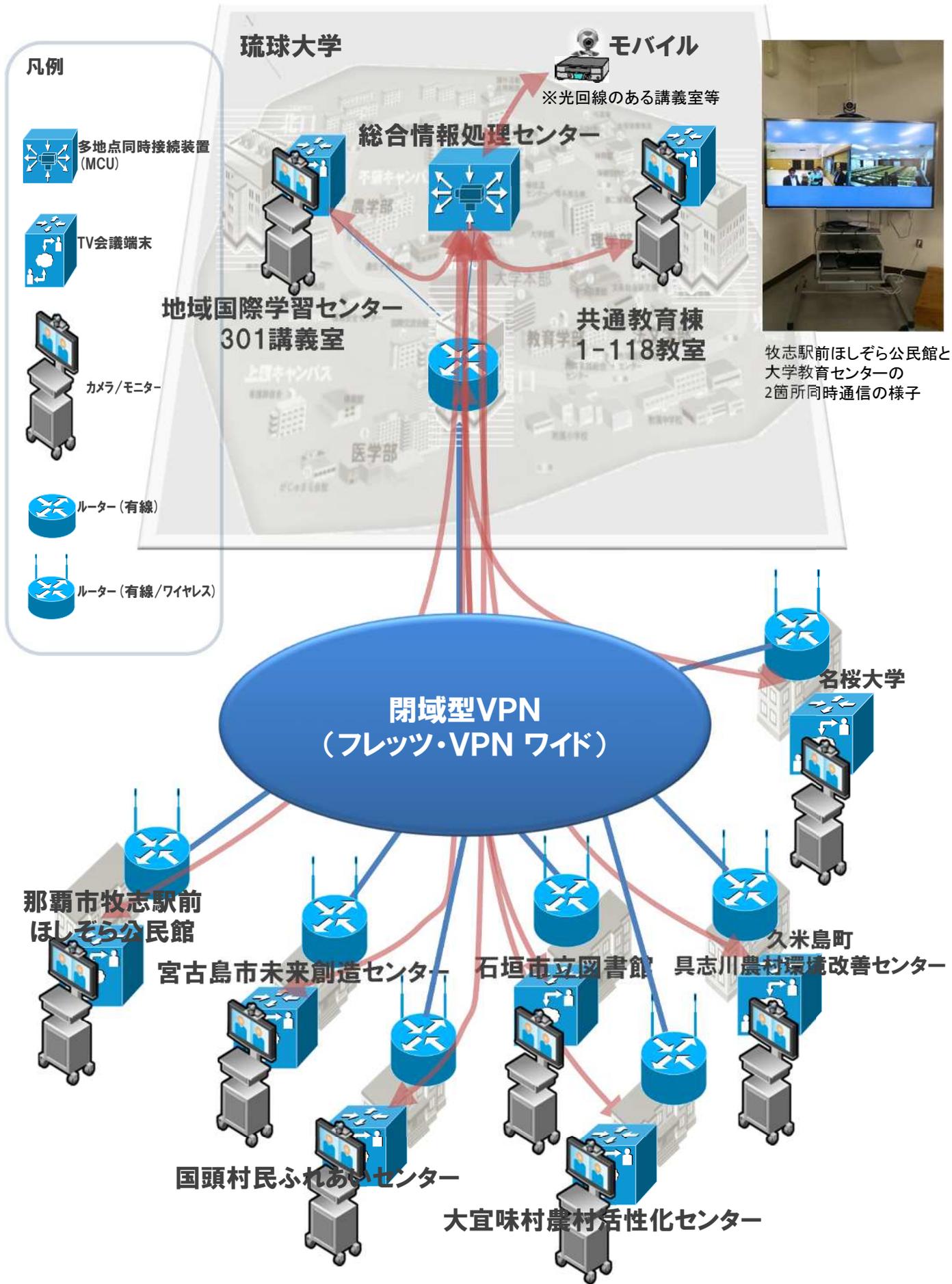
### 3 琉球大学サテライトキャンパスの活用（別添2）

2019年度は、本学の公開講座及び公開授業の一部を各サテライトキャンパスへ配信しました。

（配信コンテンツ）

- ・公開授業「海洋の科学（理学部）」等
- ・公開講座「沖縄の公害問題で考える平和学習」等

# サテライト教育システム構成概略図



令和二年度公開講座実施計画書

部局名 \_\_\_\_\_

|                       |                                                    |                                                                |                                   |           |   |                    |
|-----------------------|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|-----------------------------------|-----------|---|--------------------|
| ① 講座名                 |                                                    |                                                                |                                   |           |   |                    |
| ② 講座の種類               | 一般 ・ 専門                                            | ③ 受講対象者                                                        |                                   | ④ 募集人数    | 人 | ⑤ 修了証の発行<br>要 ・ 不要 |
| ⑥ 共催など                |                                                    |                                                                |                                   |           |   |                    |
| ⑦ 会場                  |                                                    |                                                                |                                   |           |   | ⑧ サテライト配信<br>可 ・ 否 |
| ⑨ 受講料                 | 1. 単価表の通り<br>(下記に金額記入)<br>2. 表によらない<br>(金額及び理由を記入) | 単価表によらない場合<br>(増額、減額)の理由<br>→<br>又は<br>全学免除(無料)を希望<br>する場合の理由→ | 理由<br>(単価表によらない場合<br>のみ記入)        |           |   |                    |
|                       | 円                                                  |                                                                | 理由<br>(全学免除(無料)を希望<br>する場合、理由を選択) |           |   |                    |
| ⑩ 材料費等の徴収             | 有 ・ 無                                              | ⑪ 材料費の金額                                                       | 円                                 | ⑫ 材料費等の内訳 |   |                    |
| ⑬ 講座の開設趣旨・<br>内容等     |                                                    |                                                                |                                   |           |   |                    |
| ⑭ 担当講師<br>(代表者に○をつける) | 氏名(所属・職名)                                          |                                                                |                                   |           |   |                    |
|                       |                                                    |                                                                |                                   |           |   |                    |
|                       |                                                    |                                                                |                                   |           |   |                    |
|                       |                                                    |                                                                |                                   |           |   |                    |
| ⑮ プログラム               |                                                    |                                                                |                                   |           |   |                    |
| 実施日                   | 時間                                                 | 講座内容                                                           |                                   |           |   | 担当講師               |
|                       |                                                    |                                                                |                                   |           |   |                    |
|                       |                                                    |                                                                |                                   |           |   |                    |
|                       |                                                    |                                                                |                                   |           |   |                    |
|                       |                                                    |                                                                |                                   |           |   |                    |
| ⑯ 必要経費希望額<br>の積算内訳    |                                                    |                                                                |                                   |           |   |                    |
|                       | 合 計                                                |                                                                |                                   |           |   | 円                  |
| ⑰ 備 考                 |                                                    |                                                                |                                   |           |   |                    |

令和二年度公開講座実施計画書  
(記入例)

部局名

法文学部

|                                                                                                        |                                                                                                              |                                                                        |                                                                         |                  |                                         |                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|------------------|-----------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| ① 講座名                                                                                                  | 夏休み工作教室                                                                                                      |                                                                        |                                                                         |                  |                                         |                                                            |
| ② 講座の種類                                                                                                | <input checked="" type="radio"/> 一般 ・ 専門                                                                     | ③ 受講対象者                                                                | 小学1～3年生                                                                 | ④ 募集人数           | 10 人                                    |                                                            |
| ⑤ 修了証の発行                                                                                               | <input checked="" type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 不要                                                  |                                                                        |                                                                         |                  |                                         |                                                            |
| ⑥ 共催など                                                                                                 |                                                                                                              |                                                                        |                                                                         |                  |                                         |                                                            |
| ⑦ 会場                                                                                                   | 琉球大学工学部2号館226室(電気基礎実験室)                                                                                      |                                                                        |                                                                         |                  | ⑧ サテライト配信                               | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 否 |
| ⑨ 受講料                                                                                                  | 1. 単価表の通り<br>(下記に金額記入)<br>2. 表によらない<br>(金額及び理由を記入)                                                           | 単価表によらない場<br>合(増額、減額)の理<br>由→<br><br>又は<br>全学免除(無料)を<br>希望する場合の理由<br>→ | 理由<br>(単価表によらない場合<br>のみ記入)<br><br>理由<br>(全学免除(無料)を希<br>望する場合、理由を選<br>択) |                  |                                         |                                                            |
|                                                                                                        | 0 円                                                                                                          |                                                                        |                                                                         | ウ) 児童・生徒を対象とする講座 |                                         |                                                            |
| ⑩ 材料費等の徴収                                                                                              | <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無                                                                       | ⑪ 材料費の金額<br>(一人当たり)                                                    | 300円                                                                    | ⑫ 材料費等の内訳        | 単4乾電池、ホットボンドスティック他<br>計3,036円÷10人=303.6 |                                                            |
| ⑬ 講座の開設趣旨・<br>内容等                                                                                      | 趣旨:ものづくりの楽しさや、不思議さ等の体験を通して、子供たちが科学技術に親しみを持つことを目的にしています。<br>内容:モーターを用いてホバークラフトを作ります。「気圧」って何だろう?を遊びながら勉強しましょう。 |                                                                        |                                                                         |                  |                                         |                                                            |
| ⑭ 担当講師<br>(代表者に○をつける)                                                                                  | 氏名(所属・職名)                                                                                                    |                                                                        |                                                                         |                  |                                         |                                                            |
|                                                                                                        | ○ 琉大 太郎(○○学部○○学科教授)                                                                                          |                                                                        |                                                                         |                  |                                         |                                                            |
|                                                                                                        | ○ 沖縄 花子(○○学部○○○○学科教授)                                                                                        |                                                                        |                                                                         |                  |                                         |                                                            |
|                                                                                                        |                                                                                                              |                                                                        |                                                                         |                  |                                         |                                                            |
| ⑮ プログラム                                                                                                |                                                                                                              |                                                                        |                                                                         |                  |                                         |                                                            |
| 実施日                                                                                                    | 時間                                                                                                           | 講座内容                                                                   |                                                                         |                  | 担当講師                                    |                                                            |
| 7月27日                                                                                                  | 9:00-11:00                                                                                                   | ホバークラフトの作製                                                             |                                                                         |                  | 琉大 太郎<br>沖縄 花子                          |                                                            |
| ⑯ 必要経費希望額<br>の積算内訳                                                                                     |                                                                                                              |                                                                        |                                                                         |                  |                                         |                                                            |
| 学生アルバイト(2名):単価790円(1時間)×6時間×2名分=9,480円<br>USBフラッシュメモリ(2個):2G 1,260円×2個=2,520円<br>その他消耗品(印刷用紙代等):5,000円 |                                                                                                              |                                                                        |                                                                         |                  |                                         |                                                            |
| 合 計                                                                                                    |                                                                                                              |                                                                        |                                                                         |                  | 17,000 円                                |                                                            |
| ⑰ 備 考                                                                                                  | 教室が変更になる場合があります。                                                                                             |                                                                        |                                                                         |                  |                                         |                                                            |

## 令和二年度公開講座実施計画書の留意事項

※中期計画・年度計画に明記されていますように、公開講座等の大学開放事業の拡充が大学全体の方針となっています。またその実施結果は評価の対象となります。特に募集定員と実際の参加状況、必要経費と収入などの定量的結果、そしてアウトカム(成果)の公表と評価が、強く求められてきます。公開講座の計画に当たっては、これらの点に十分留意してください。また、この実施計画書は地域連携推進機構運営会議での検討資料となりますので、講座の趣旨・目的・内容や特色等については、できるだけ具体的に記述してください。

地域連携推進機構生涯学習推進部門

りゅうい

| 入力する欄          | 留意事項                                                                                                                                                                                                                                                               |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 講座名          | 講座名を記入してください。(第〇〇回等は記入しない。)                                                                                                                                                                                                                                        |
| ② 講座の種類        | 該当するコースを○で囲んでください。                                                                                                                                                                                                                                                 |
| ③ 受講対象者        | 「市民一般」、「〇〇関係者」等と具体的に記入してください。                                                                                                                                                                                                                                      |
| ④ 募集人数         | 実態に即した人数を記入してください。                                                                                                                                                                                                                                                 |
| ⑤ 修了証の発行       | 受講者へ修了証を発行する予定がある場合については「要」とし、不要である場合は「不要」としてください。                                                                                                                                                                                                                 |
| ⑥ 共催など         | 主催は琉球大学となりますが、地域の自治体や教育委員会、民間企業等との連携がある場合には、その種類(共催・後援等)と機関名を併せて記入してください。また、共催・後援等の内容についても簡潔に記入してください。                                                                                                                                                             |
| ⑦ 開催会場         | 会場(教室)名を記入してください。サテライト配信を行う場合は、地域国際学習センター301講義室または共通教育棟118教室と記入してください。                                                                                                                                                                                             |
| ⑨ 受講料          | 別紙「単価表」に基づく受講料を記入してください。別紙「単価表」によらない(一部免除若しくは加算する)場合には、その理由と希望する金額・根拠を記入してください。全額免除(無料)を希望する場合は該当する免除理由をア)～エ)から選択してください。ア)～エ)によらない場合はオ)を選択し、理由を備考欄に記入してください。<br>ア)福祉・健康に関する講座<br>イ)福祉的配慮が必要な方を対象とする講座<br>ウ)児童・生徒を対象とする講座<br>エ)サテライトキャンパスを活用した講座<br>オ)その他(備考に理由を記入) |
| ⑩ 材料費等の徴収      | 受講料以外に、受講者に負担いただく材料費等(当日使用する材料費、保険料、バス借上料等)がありましたら、ご記入ください。                                                                                                                                                                                                        |
| ⑬ 講座開設の趣旨・内容等  | 開設する講座の目的や趣旨、主な内容について具体的に記入してください。受講者が見て講座の内容が想起できるよう、わかりやすく、魅力的な記述をしてください。                                                                                                                                                                                        |
| ⑪ 担当講師         | 氏名、所属、職名を記入してください。複数の場合には代表者には○をつけてください。                                                                                                                                                                                                                           |
| ⑭ プログラム        | 実施日、曜日、開催時間帯、講座内容、担当講師名を記入してください。                                                                                                                                                                                                                                  |
| ⑯ 必要経費希望額の積算内訳 | 公開講座の実施に際し、購入が必要な物品や人件費等を記入してください(個数や単価)。                                                                                                                                                                                                                          |
| ⑰ 備考           | 講座の受講に際し、受講者の負担となる経費(市販の資料や材料の購入費等)や当日の服装、持参すべきものなどをご記入ください。なお、ケガなどの可能性がある講座に関しては、実費負担によって保険加入する必要などを明記してください。                                                                                                                                                     |

## 別表

| 1講座当たり時間数 |          | 公開講座講習料  |
|-----------|----------|----------|
|           | 5 時間以下   | 2,670 円  |
| 5 時間を越え   | 10 時間以下  | 3,180 円  |
| 10 時間を越え  | 15 時間以下  | 3,700 円  |
| 15 時間を越え  | 20 時間以下  | 4,210 円  |
| 20 時間を越え  | 25 時間以下  | 4,730 円  |
| 25 時間を越え  | 30 時間以下  | 5,240 円  |
| 30 時間を越え  | 35 時間以下  | 5,760 円  |
| 35 時間を越え  | 40 時間以下  | 6,270 円  |
| 40 時間を越え  | 45 時間以下  | 6,780 円  |
| 45 時間を越え  | 50 時間以下  | 7,300 円  |
| 50 時間を越え  | 55 時間以下  | 7,810 円  |
| 55 時間を越え  | 60 時間以下  | 8,330 円  |
| 60 時間を越え  | 65 時間以下  | 8,840 円  |
| 65 時間を越え  | 70 時間以下  | 9,360 円  |
| 70 時間を越え  | 75 時間以下  | 9,870 円  |
| 75 時間を越え  | 80 時間以下  | 10,380 円 |
| 80 時間を越え  | 85 時間以下  | 10,900 円 |
| 85 時間を越え  | 90 時間以下  | 11,410 円 |
| 90 時間を越え  | 95 時間以下  | 11,930 円 |
| 95 時間を越え  | 100 時間以下 | 12,440 円 |

2019年度 公開講座一覧

●一般向け講座

| 連番           | 新規・継続 | 提供学部     | 主任担当教員<br>※青いセルは新規教員      | 講座名                                                 | 募集人数 | 受講料<br>※料金規程によらない金額<br>は赤字(無料は除く) | coc連携 | 対象者                                                       | 受講者数 | 開催期間               | 会場                                         | 備考          |
|--------------|-------|----------|---------------------------|-----------------------------------------------------|------|-----------------------------------|-------|-----------------------------------------------------------|------|--------------------|--------------------------------------------|-------------|
| 1            | 継続    | 理学部      | 中川 鉄水(理学部 助教)             | 水素のチカラ～水素を作る、貯める、使うを体験しよう～                          | 30   | 無料                                | 否     | 市民一般・学生                                                   | 7    | 7月20日(土)／未定／未定     | 地域国際学習センター301講義室／サテライト<br>キャンパスのうち1～3か所を予定 |             |
| 2            | 継続    | 医学部      | 尾尻 義彦(医学部 助教)             | 楽楽ランニングで目指せ！NAHAマラソン完走！！                            | 80   | 無料                                | 否     | 一般市民                                                      | 28   | 4月27日(土)～12月7日(土)  | 講義:共通教育棟4号館103教室<br>実技:琉球大学構内道路及び周辺道路      |             |
| 3            | 新規    | 医学部      | 大湾 知子(医学部 准教授)            | 世界遺産登録へ向けた沖縄伝統空手の健康法・三戦と<br>尿失禁・頻尿に役立つ骨盤底筋訓練        | 70   | 無料                                | 否     | 一般市民                                                      | 71   | 4月28日(日)           | 那覇市三原区公民館                                  |             |
| 4            | 継続    | 国際地域創造学部 | 大島 順子(国際地域創造学部 准教授)       | やんばるで学ぶ世界自然遺産学習                                     | 20   | 3,180円                            | 否     | 市民一般(高校生以上)、<br>教育関係者及び観光関連事業者                            | 3    | 6月1日(土)            | 琉球大学「与那フィールド」及び国頭村内の森林<br>エリア              |             |
| 5            | 継続    | 国際地域創造学部 | 大島 順子(国際地域創造学部 准教授)       | やんばる山学校                                             | 20   | 3,180円                            | 否     | 市民一般(中学生以上)                                               |      | 11月23日(土)、24日(日)   | 琉球大学「与那フィールド」及び国頭村内の森林<br>やダム周辺、海岸エリア      |             |
| 6            | 新規    | 人文社会学部   | 寺石 悦章(人文社会学部 教授)          | シュタイナー教育実践入門講座Ⅰ                                     | 20   | 3,180円                            | 否     | 市民一般・教育関係者                                                | 18   | 6月15日(土)～8月20日(火)  | 文系講義棟106教室                                 |             |
| 7            | 新規    | 人文社会学部   | 寺石 悦章(人文社会学部 教授)          | シュタイナー教育実践入門講座Ⅱ                                     | 20   | 3,180円                            | 否     | 市民一般・教育関係者                                                | 13   | 10月19日(土)～1月25日(土) | 文系講義棟106教室                                 |             |
| 8            | 継続    | 教育学部     | 下地 敏洋<br>(大学院教育学研究科 教授)   | 老年学への招待～老年学を日常生活へ～                                  | 25   | 無料                                | 否     | 市民一般                                                      | 11   | 6月22日(土)～7月6日(土)   | 教育学部棟103教室                                 |             |
| 9            | 継続    | 教育学部     | 松本 由香(教育学部 教授)            | オリジナル模様ワンピースづくりトライ!                                 | 6    | 3,700円                            | 否     | 市民一般・学生                                                   | 6    | 7月27日(土)、28日(日)    | 教育学部棟333教室                                 |             |
| 10           | 新規    | 教育学部     | 三枝崎 剛(教育学部 准教授)           | ルービックキューブのオリジナル解法                                   | 20   | 2,670円<br>(※小中高生は無料)              | 否     | 市民一般、中・高生                                                 | 1    | 7月27日(土)           | 教育学部本館106教室                                |             |
| 11           | 継続    | 教育学部     | 三枝崎 剛(教育学部 准教授)           | 結び目の数学～ひもはほどけるか～                                    | 20   | 2,670円<br>(※小中高生は無料)              | 否     | 市民一般、中・高生                                                 | 0    | 8月3日(土)            | 教育学部本館106教室                                | 申込者ナンのため不開講 |
| 12           | 新規    | 理学部      | 傳田 哲郎(理学部 教授)             | 植物と動物のつながりを探る～イチジクの仲間を例に～                           | 15   | 3,180円<br>(※小中高生は無料)              | 否     | 市民一般(小中高生も可)                                              | 4    | 8月3日(土)            | 理学部海洋自然科学科427教室                            |             |
| 13           | 継続    | 理学部      | 前野 昌弘(理学部 准教授)他           | ～物理の魅力を教えます2019～                                    | 50   | 無料                                | 否     | 小中高生・一般                                                   | 74   | 8月4日(日)            | 理系複合棟                                      |             |
| 14           | 継続    | 工学部      | 渡嘉敷 健(工学部 准教授)            | 音の体験教室                                              | 50   | 2,670円<br>(※高校生以下は無料)             | 否     | 市民一般                                                      | 3    | 8月18日(日)           | 工学部2号館2階残響室・無響室                            |             |
| 15           | 継続    | 理学部      | 中村 崇(理学部 准教授)             | 身近な海を楽しもう～サンゴ礁の生物塾～                                 | 10   | 2,670円<br>(※小中高生は無料)              | 否     | 移動手段(自家用車)があり、終日参加が可能な方<br>未成年の場合は小学生以上とし原則保護者同伴での参加が可能な方 | 6    | 8月31日(土)           | 理学部528教室と野外<br>(大渡海岸もしくは裏真栄田海岸を予定)         |             |
| 16           | 継続    | 医学部      | 照屋 典子(医学部 助教)             | がん患者・家族を癒す緩和ケアの実際                                   | 50   | 無料                                | 否     | 市民一般・患者・家族                                                | 50   | 9月7日(土)            | 沖縄赤十字病院3階会議室                               |             |
| 17           | 新規    | 医学部      | 大湾 知子(医学部 准教授)            | コンテネンス月間・コンテネンスデイ!<br>+めざせ!気持ちよく排泄できるコンテネンス         | 70   | 無料                                | 否     | 一般市民                                                      |      | 11月2日(土)           | 放送大学沖縄学習センター5階大講義室                         |             |
| 18           | 新規    | 工学部      | 渡嘉敷 健(工学部 准教授)            | 沖縄の公害問題で考える平和学習                                     | 20   | 3,180円                            | 可     | 市民一般                                                      |      | 11月2日(土)～11月16日(土) | 地域国際学習センター301講義室                           |             |
| 19           | 継続    | 農学部      | 森山 克子(農学部 准教授)            | 働き盛りのための栄養講座・クッキングpart1～part3<br>～仕事の活力を増進させるニュートレ～ | 8～10 | 2,670円                            | 否     | 30歳以上の男女                                                  |      | 11月9日(土)           | 教育学部本館309教室、306教室(休職実習室)                   |             |
| 20           | 継続    | 理学部      | 漢那 洋子(理学部 准教授)            | 理系女子・理系男子の世界<br>～進路選択とキャリア形成、生活と文化～                 | 20   | 無料                                | 否     | 一般<br>(高校・大学生、指導者・保護者も可)                                  |      | 未定                 | 理系複合棟207講義室(仮)                             |             |
| 21           | 継続    | 工学部      | 姜 東植(工学部 准教授)             | シニアのための健康サッカー講座                                     | 30   | 無料                                | 否     | 40歳以上でサッカーにサ興味がある<br>方                                    |      | 8月14日(水)～3月27日(金)  | サッカーグラウンド                                  |             |
| 22           | 継続    | 地域連携推進機構 | 島袋 亮道<br>(地域連携推進機構 特命准教授) | IoTシステムセキュリティ実践講座                                   | 30   | 3,700円                            | 否     | 情報セキュリティに関心がある社会<br>人、<br>学内外学生                           | 7    | 7月20日(土)～2月15日(土)  | 地域創生総合研究棟1F 産学官交流フロア                       |             |
| 23           | 継続    | 地域連携推進機構 | 畑中 寛<br>(地域連携推進機構 特命准教授)  | 政策立案能力基礎プログラム                                       | 20   | ¥4,210                            | 否     | 行政、企業、NPO、地域づくりを担う団<br>体、学生、起業家など                         | 1    | 6月29日(土)～8月9日(金)   | 地域国際学習センター301講義室                           |             |
| 一般向けコース:23講座 |       |          |                           |                                                     |      |                                   |       |                                                           |      |                    |                                            |             |

●専門職向けコース

| 連番                   | 新規・継続 | 提供学部     | 主任担当教員<br>※青いセルは新規教員      | 講座名                                       | 募集人数               | 受講料<br>※料金規程によらない金額<br>は赤字(無料は除く) | coc連携 | 対象者                          | 受講者数 | 開催期間                | 会場                       | 備考                                     |
|----------------------|-------|----------|---------------------------|-------------------------------------------|--------------------|-----------------------------------|-------|------------------------------|------|---------------------|--------------------------|----------------------------------------|
| 1                    | 継続    | 工学部      | 比嘉 晃(工学部工学科電子情報通信コース 教授)  | 第二種電気工事士試験対策講習(筆記・上期)                     | 40                 | ¥3,700<br>(大学生は¥1,850)            | 否     | 市民一般並びに工学系大学生                | 32   | 4月27日(土)～6月1日(土)    | 琉球大学工学部4号館111室           |                                        |
| 2                    | 継続    | 工学部      | 比嘉 晃(工学部工学科電子情報通信コース 教授)  | 第二種電気工事士試験対策講習(技能・上期)                     | 20                 | ¥4,730<br>(大学生は¥2,365)            | 否     | 市民一般並びに工学系大学生                | 33   | 6月8日(土)～7月20日(土)    | 琉球大学工学部2号館226室(電気基礎実験室)  |                                        |
| 3                    | 継続    | 工学部      | 比嘉 晃(工学部工学科電子情報通信コース 教授)  | 第二種電気工事士試験対策講習(筆記・下期)                     | 20                 | ¥3,700<br>(大学生は¥1,850)            | 否     | 市民一般並びに工学系大学生                | 16   | 8月31日(土)～9月28日(土)   | 琉球大学工学部4号館111室           |                                        |
| 4                    | 継続    | 工学部      | 比嘉 晃(工学部工学科電子情報通信コース 教授)  | 第二種電気工事士試験対策講習(技能・下期)                     | 20                 | ¥4,730<br>(大学生は¥2,365)            | 否     | 市民一般並びに工学系大学生                |      | 10月12日(土)～11月30日(土) | 琉球大学工学部2号館226室(電気基礎実験室)  |                                        |
| 5                    | 継続    | 医学部      | 遠藤 由美子(医学部保健学科 准教授)       | 看護職の研究力アップ講座                              | 30                 | ¥2,670                            | 否     | 臨床看護研究を実施予定または実施中の看護職        | 6    | 6月22日(土)～1月25日(土)   | 琉球大学医学部保健学科棟213室(2階)     |                                        |
| 6                    | 継続    | 工学部      | 渡嘉敷 健(工学部工学科建築学コース 准教授)   | ホームマネージメント                                | 10                 | ¥3,180                            | 否     | ホール技術者及び一般市民                 | 4    | 10月5日(土)～10月19日(土)  | 琉球大学工学部2号館2F残響室・無響室・小会議室 |                                        |
| 7                    | 継続    | 保健管理センター | 古川 卓(グローバル教育支援機構保健管理部門教授) | 心理リハビリテーション・ボランティア養成講座                    | 50                 | 無料                                | 可     | 教育・福祉・医療従事者、障がい児(者)の家族、学生等   | 52   | 4月27日(土)            | 琉球大学大学会館3階特別会議室          | 宮古島サテライトキャンパス:13名<br>石垣島サテライトキャンパス:17名 |
| 8                    | 継続    | 保健管理センター | 古川 卓(グローバル教育支援機構保健管理部門教授) | 心理リハビリテーション(動作法)Ⅰ                         | (有料)5人<br>(無料)10人  | ¥5,240                            | 否     | (有料)教育・福祉・医療従事者(無料)障がい者とその家族 | 10   | 5月13日(月)～7月8日(月)    | 琉球大学保健管理センター             |                                        |
| 9                    | 継続    | 保健管理センター | 古川 卓(グローバル教育支援機構保健管理部門教授) | 心理リハビリテーション(動作法)Ⅱ                         | (有料)5人<br>(無料)10人  | ¥4,730                            | 否     | (有料)教育・福祉・医療従事者(無料)障がい者とその家族 |      | 9月30日(月)～12月9日(月)   | 琉球大学保健管理センター             |                                        |
| 10                   | 継続    | 保健管理センター | 古川 卓(グローバル教育支援機構保健管理部門教授) | 心理リハビリテーション(動作法)キャンプ in 石垣島               | (有料)10人<br>(無料)20人 | ¥3,700                            | 否     | (有料)教育・福祉・医療従事者(無料)障がい者とその家族 | 48   | 7月13日(土)～14日(日)     | NPO法人ちゅらハウス              |                                        |
| 11                   | 継続    | 保健管理センター | 古川 卓(グローバル教育支援機構保健管理部門教授) | 心理リハビリテーション(動作法)キャンプ in 宮古島               | (有料)12人<br>(無料)30人 | ¥3,700                            | 否     | (有料)教育・福祉・医療従事者(無料)障がい者とその家族 | 10   | 7月24日(水)～26日(金)     | 沖縄県立宮古特別支援学校             |                                        |
| 12                   | 継続    | 保健管理センター | 古川 卓(グローバル教育支援機構保健管理部門教授) | 自立活動に生かす心理リハビリテーション(動作法)出前講座 in 那覇特別支援学校  | 20                 | 無料                                | 否     | 特別支援学校教員、児童生徒                | 23   | 5月10日(金)～2月14日(金)   | 沖縄県立那覇特別支援学校             |                                        |
| 13                   | 継続    | 保健管理センター | 古川 卓(グローバル教育支援機構保健管理部門教授) | 自立活動に生かす心理リハビリテーション(動作法)出前講座 in 泡瀬特別支援学校  | 20                 | 無料                                | 否     | 特別支援学校教員、児童生徒                | 32   | 8月29日(木)～9月20日(金)   | 沖縄県立泡瀬特別支援学校             |                                        |
| 14                   | 継続    | 保健管理センター | 古川 卓(グローバル教育支援機構保健管理部門教授) | 自立活動に生かす心理リハビリテーション(動作法)出前講座 in 鏡が丘特別支援学校 | 20                 | 無料                                | 否     | 特別支援学校教員、児童生徒                |      | 9月27日(金)～1月17日(金)   | 沖縄県立鏡が丘特別支援学校            |                                        |
| <b>専門職向けコース:14講座</b> |       |          |                           |                                           |                    |                                   |       |                              |      |                     |                          |                                        |

●子ども向けコース

| 連番            | 新規・継続 | 提供学部 | 主任担当教員<br>※青いセルは新規教員            | 講座名                                     | 募集人数         | 受講料<br>※料金規程によらない金額<br>は赤字(無料は除く) | coc連携 | 対象者                       | 受講者数 | 開催期間             | 会場                                       | 備考 |
|---------------|-------|------|---------------------------------|-----------------------------------------|--------------|-----------------------------------|-------|---------------------------|------|------------------|------------------------------------------|----|
| 1             | 継続    | 教育学部 | 岡田 恵美(教育学部音楽教育講座<br>准教授)        | ものづくりと音楽体験)<br>3Dプリンタを用いた楽器作りとアンサンブル体験! | 15           | 無料                                | 否     | 主に小学校高学年・中学生<br>(保護者の参加可) | 13   | 8月3日(土)          | 琉球大学教育学部教育実践棟<br>実践指導室AB室                |    |
| 2             | 継続    | 工学部  | 比嘉 広樹(工学部工学科電気システ<br>ム工学コース 教授) | ロボットをつくらう                               | 10           | 無料                                | 否     | 中学生                       | 10   | 8月4日(日)          | 琉球大学工学部3号館<br>305コンピュータ実習室               |    |
| 3             | 継続    | 教育学部 | 三輪 一義(教育学部生涯健康教育<br>コース 教授)     | 児童・生徒・指導者のためのハンドボール教室                   | 200          | 無料                                | 否     | ハンドボール愛好者                 |      | 4月7日(土)~3月10日(日) | 琉球大学第一体育館                                |    |
| 4             | 継続    | 理学部  | 中川 鉄水(理学部 海洋自然科学科<br>化学系 助教)    | 身近な化学 Part①                             | 30           | 無料                                | 否     | 高校生以下                     | 28   | 7月27日(土)         | 琉球大学<br>地域国際学習センター301講義室                 |    |
| 5             | 継続    | 理学部  | 中川 鉄水(理学部 海洋自然科学科<br>化学系 助教)    | 身近な化学 Part②                             | 30           | 無料                                | 否     | 高校生以下                     |      | 未定(2月予定)         | 琉球大学<br>地域国際学習センター301講義室                 |    |
| 6             | 継続    | 教育学部 | 岡本 牧子(教育学部技術教育専修<br>准教授)        | 新聞記者体験 -エネルギーってなんだろ?-                   | 20           | 無料                                | 否     | 小学4~6年生とその保護者             | 5    | 7月20日(土)~21日(日)  | 琉球大学教育学部本館101教室                          |    |
| 7             | 継続    | 教育学部 | 清水 洋一(教育学部技術教育教室<br>教授)         | おもちゃ作りを通して学ぶ地球温暖化防止親子講座                 | 10組<br>(20人) | 無料                                | 否     | 小学校4~6年生(保護者同伴のこと)        | 18   | 7月21日(日)         | 琉球大学教育学部102教室                            |    |
| 8             | 継続    | 工学部  | 金城 光永(工学部工学科 電子情報<br>通信コース 准教授) | 電子工作教室(ミニ四駆とLEDを題材に)                    | 12           | 無料                                | 否     | 小学5・6年生(保護者同伴のこと)         | 12   | 7月21日(日)         | 琉球大学工学部2号館226教室(電気基礎実験<br>室)・217-2(ものラボ) |    |
| 9             | 継続    | 工学部  | 勢理客 勝則(工学部技術部 技術職<br>員)         | 夏休み工作教室 - ホバークラフト                       | 10           | 無料                                | 否     | 小学校1~3年生(保護者同伴のこと)        | 7    | 7月27日(土)         | 琉球大学工学部2号館<br>226教室(電気基礎実験室)             |    |
| 10            | 継続    | 工学部  | 淵脇 秀晃(工学部技術部 技術専門<br>職員)        | 夏休み工作教室 - 折り紙建築                         | 8            | 無料                                | 否     | 小学5・6年生(保護者同伴のこと)         | 6    | 7月27日(土)         | 琉球大学工学部2号館2階技術部室                         |    |
| 11            | 継続    | 工学部  | 宮城 紀良(工学部技術部 技術専門<br>職員)        | 夏休み工作教室 - 固形燃料で走る船                      | 14           | 無料                                | 否     | 小学5・6年生(保護者同伴のこと)         | 10   | 7月27日(土)         | 琉球大学工学部1号館<br>1-122室(学生学習室)              |    |
| 12            | 継続    | 工学部  | 山下 大輔(工学部技術部 技術職<br>員)          | 夏休み工作教室 - 電子回路の製作                       | 12           | 無料                                | 否     | 小学校4~6年生(保護者同伴のこと)        | 11   | 7月27日(土)         | 琉球大学工学部2号館<br>226室(電気基礎実験室)              |    |
| 13            | 継続    | 工学部  | 渡慶次 高也(工学部技術部 技術職<br>員)         | 夏休み工作教室 - 電気工事を体験しよう(小学生対象コース)          | 10           | 無料                                | 否     | 小学校4~6年生(保護者同伴のこと)        | 10   | 7月27日(土)         | 琉球大学工学部2号館<br>118室(電力実験室)                |    |
| 14            | 継続    | 工学部  | 渡慶次 高也(工学部技術部 技術職<br>員)         | 夏休み工作教室 - 電気工事を体験しよう(中学生対象コース)          | 10           | 無料                                | 否     | 中学生                       | 8    | 8月3日(土)          | 琉球大学工学部2号館<br>118室(電力実験室)                |    |
| 15            | 継続    | 工学部  | 翁長 電盛(工学部技術部 技術職<br>員)          | 夏休み工作教室 - デスクトップPC組み立て・LANケーブル作製体験      | 8            | 無料                                | 否     | 中学生                       | 6    | 7月27日(土)         | 琉球大学工学部2号館<br>217-2号室(ものラボ)              |    |
| 16            | 継続    | 工学部  | 山下 大輔(工学部技術部 技術職<br>員)          | 夏休み工作教室 - ミラクル万華鏡                       | 10           | 無料                                | 否     | 小学校1~3年生(保護者同伴のこと)        | 10   | 8月3日(土)          | 琉球大学工学部2号館<br>226室(電気基礎実験室)              |    |
| 17            | 継続    | 工学部  | 大城 成栄(工学部技術部 技術専門<br>職員)        | 夏休み工作教室 - 合金を溶かして風鈴づくり                  | 8            | 無料                                | 否     | 小学5・6年生(保護者同伴のこと)         | 7    | 8月3日(土)          | 琉球大学工学部附属工作工場内                           |    |
| 18            | 継続    | 工学部  | 勢理客 勝則(工学部技術部 技術職<br>員)         | 夏休み工作教室 - まわりつづけるコマ                     | 10           | 無料                                | 否     | 小学校4~6年生(保護者同伴のこと)        | 7    | 8月3日(土)          | 琉球大学工学部2号館<br>226室(電気基礎実験室)              |    |
| 19            | 新規    | 教育学部 | 濱田 栄作(教育学部理科教育専修<br>准教授)        | はじめてのプログラミング体験                          | 5            | 無料                                | 否     | 小学5・6年生(保護者同伴のこと)         |      | 10月27日(日)        | 琉球大学教育学部棟4階422教室                         |    |
| 20            | 継続    | 工学部  | 渡慶次 高也(工学部技術部 技術職<br>員)         | ものラボでものづくり! クリスマスイルミネーション工作教室           | 8            | 無料                                | 否     | 小学校4~6年生(保護者同伴のこと)        |      | 12月14日(土)        | 琉球大学工学部2号館<br>217-2号室(ものラボ)              |    |
| 21            | 新規    | 教育学部 | 濱田 栄作(教育学部理科教育専修<br>准教授)        | クリスマスサイエンスレクチャー                         | 16           | 無料                                | 否     | 小学5・6年生および中学生             |      | 12月21日(土)        | 琉球大学教育学部棟4階422教室                         |    |
| 22            | 継続    | 理学部  | 前野 昌弘(理学部物質地球科学科<br>物理系准教授)     | 琉大生による理科実験教室                            | 100          | 無料                                | 否     | 小中高年生・一般                  |      | 12月26日(木)        | 琉球大学物理系複合棟                               |    |
| 23            | 継続    | 教育学部 | 笹澤 吉明(教育学部 准教授)                 | 琉大生がサッカーと勉強を教えます!                       | 100          | ¥2,000                            | 否     | 小学生                       |      | 6月~3月            | 琉球大学サッカー場(雨天時第一体育館)及び<br>講義室             |    |
| 子ども向けコース:23講座 |       |      |                                 |                                         |              |                                   |       |                           |      |                  |                                          |    |



# 公開講座実施計画におけるQ&A

## 【NEW】

### Q. 材料費等とは？どのように徴収するのか？

→受講料以外に受講者に負担いただく材料費、保険料、バス借上料、宿泊費等ございましたら記入してください。内訳につきましては、できるだけ具体的に記述してください。令和元年度より材料費等の現金徴収は行わず、受講料と合わせて口座振り込みを予定しております。

### Q. 受講料はどのように設定するのか？無料と有料の違いは？

→別表の「受講料」単価表および類似講座の参加状況、講座の内容・対象をふまえ、該当する金額を記入してください。最終的には、地域連携推進機構運営会議での審議を経て正式に決定されますので、「受講料」単価表に拠らない金額を設定する場合には、金額設定の理由も記入してください。

### Q. 学外の方を講座の担当講師としても良いか？

→琉球大学に蓄積された教育・研究機能の開放に必要な場合に限り、学外講師を含めたプログラム構成とすることも可能です。ただし、講師謝金は支払い可能ですが、旅費の支給はできません。

なお、特別な理由により旅費が不可欠となるご計画の場合には（離島や県外講師の招聘など）、事前に担当までご相談ください。

### Q. 講座の申し込み先は？

→受講者の申し込み受付のみの場合は地域連携推進係にて行いますが、受付時に受講者への事前説明などのやりとりが必要な場合には、受付業務を担当講師ご本人にさせていただくことも可能です。その場合には、窓口となる担当者のお名前を明示してください。

**Q. 講座の受付期間は？**

→講座の受付期間は原則として1ヶ月前からとなりますが、早めの受付をお望みの場合はその旨を備考欄にお書き下さい。

**Q. どのようなものが必要経費として申請できるのか？**

→公開講座の実施・運営に必要な消耗品の他、講座の実施補助に必要な学生アルバイト料などの申請が可能です。消耗品の購入及びアルバイトを雇用する場合は、講座開始の1ヶ月前までに担当にご相談ください。

**Q. 1講座当たりの必要経費に上限はあるのか？**

→基本的にはありません。講座の運営に適切と思われる必要最小限の計上を計上し、その範囲内での開講をお願いします。なお、申請額が適切でないと判断された場合は減額または講座の開講をお断りする場合がございますので必要経費の積算については適正な方法でお願いします。

**Q. 保険についてどのように対応するのか？**

→公開講座の受講に係る保険については、原則として受講者各自で加入することをお願いしています。ただし、スポーツを扱う継続的な講座については保険加入を希望する受講者から保険料を徴収し、本学から保険料を支払うことが可能です。（その場合については、申込み及び受講料・保険料の入金締切日を2週間前とします。）

スポーツ以外の講座で保険加入が必要な講座については講座の募集要項に「必ず保険加入をすること」という文言を明記し、受講者各自に保険加入を義務付けさせていただきます。

**Q. 学外で実施する場合の手続きはどうすればいいのか？**

→施設の予約および調整などは担当講師自身で行って下さい。ただし、施設使用料が発生する場合には事前に担当までご相談下さい。

## Q. 公開講座を担当したら謝金はもらえるのか？

→法人化以降、公開講座は大学の本務と位置づけられているため、謝金を支給することはできません(学外講師に関しては支給可)。

ただし、講座が勤務時間内(8:30~17:15)を超える場合および土日・祝祭日に開催される場合には超過勤務または勤務振替の処理の対応を部局にお願いしております。なお、上記の処理のためには公開講座の実施済報告書の提出が必要となりますので、講義終了後速やかに担当まで提出をお願いいたします。

なお、講座の開講にあたりましては、資源の効果的利用(省資源、省エネ、節水、リサイクル等)に努め、CO<sub>2</sub>排出削減、廃棄物排出量削減、ペーパレス化に取り組む等、環境にご配慮くださいますようお願いいたします。

その他ご質問等がございましたら  
下記担当までお気軽にご相談ください。

総合企画戦略部 地域連携推進課 宮平  
内線(8019)  
E-mail : chikiren@acs.u-ryukyu.ac.jp



学内地連第 号  
令和元年 月 日グローバル教育支援機構長  
井上 章二 殿地域連携推進機構長  
牛窪 潔  
(公印省略)

## 大学開放事業等への協力について（依頼）

平素より地域連携推進機構の運営にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。本機構は、引き続き公開講座・公開授業及び琉球大学サテライトキャンパスの運営を行うこととしております。

さて、本機構では本年度も 67 の公開講座を実施しており、昨年度は 101 講座、2,786 人の受講者を受入れてきました。また、平成 15 年度より、旧大学教育センターの協力をいただいております。本学の正規の授業科目を公開授業として開放し、同年 55 科目の提供を始め、昨年度には、116 科目 265 人の受講生を受け入れているところです。併せて、平成 30 年 12 月 11 日付、学内地連第 357 号にてご依頼さしあげた標記のことについて、今年度は 85 科目の提供をいただきました。

また、昨年度にはサテライトキャンパスへのビデオ会議システムを活用した、公開講座等の配信及び出前講座を延べ 30 回実施し、地域の学び直しの充実強化に努めております。

一方で、昨今の大学改革においては、平成 16 年度の国立大学法人化後、大学の第 3 の使命として「地域貢献」が位置付けられました。また、平成 29 年度 8 月末の概算要求時においては、本学は、重点支援①として、主として、人材育成や地域課題を解決する取組などを通じて地域に貢献する取組等を第 3 期の機能強化の中核とする国立大学法人として位置付けられたところです。

そのような中、今後、地域連携推進機構では、第 3 期に掲げた中期目標・計画の着実な推進と、教育・研究成果の地域への更なる還元及び地域を志向した大学となるよう努めてまいりますので、貴機構におかれましては、下記の事項について、格別なるご協力をいただきたく、お願い申し上げます。

## 記

1. 本学共通教育科目において、より多くの科目が、公開授業の対象となるよう、貴機構から各教員へ、積極的な公開授業への登録の協力要請をお願いしたい。特に、プロフェッサー・オブ・ザ・イヤーを受賞した教員の講義等、より広く一般の方に開放した方がよい講義等への積極的な要請をお願いしたい。※2019 年度公開授業一覧は別添（別紙 1）のとおり。
2. 上記 1 で協力いただける公開授業の中で、より多くの講義を琉球大学サテライトキャンパスへ配信するためにも、希望する科目については、同機器が設置されている講義室（共通教育棟 1-118）を優先的に利用できるように、配慮をお願いしたい。※琉球大学サテライトキャンパス及びサテライト教育システムの概要は別添（別紙 2）のとおり。

## 【本件担当】

総合企画戦略部地域連携推進課  
地域連携推進係 宮平  
内線：8019

## 2019年度公開授業一覧

※黄色セルはサテライト配信予定

| 授業番号 | 分類      | 授業科目名              | 学期  | 曜日<br>時限 | 開講学部          | 担当教員         | 担当教員の所属学部・学科等          |
|------|---------|--------------------|-----|----------|---------------|--------------|------------------------|
| 1    | 共通教育等科目 | 平和論                | 前学期 | 火4       | 人文社会学部        | 阿部 小涼 他      | 人文社会学部国際法政学科 教授 他      |
| 2    | 共通教育等科目 | 人間観と教育             | 前学期 | 月3       | 人文社会学部        | 寺石 悦章        | 人文社会学部人間社会学科 教授        |
| 3    | 共通教育等科目 | 人間関係論              | 前学期 | 月1       | 人文社会学部        | 田中 寛二        | 人文社会学部人間社会学科 准教授       |
| 4    | 共通教育等科目 | インテンスフランス語         | 前学期 | 火2、金2    | 国際地域創造学部      | デルバール・フランク 他 | 国際地域創造学部国際地域創造学科 准教授 他 |
| 5    | 共通教育等科目 | スペイン語入門Ⅰ           | 前学期 | 水2       | 国際地域創造学部      | 鈴木 正士        | 国際地域創造学部国際地域創造学科 教授    |
| 6    | 共通教育等科目 | インテンススペイン語Ⅰ        | 前学期 | 火2、金2    | 国際地域創造学部      | 福地 恭子 他      | 国際地域創造学部国際地域創造学科 講師 他  |
| 7    | 共通教育等科目 | 物理学入門Ⅰ             | 前学期 | 火2、金2    | 理学部           | 安田 千寿        | 理学部物質地球科学科 准教授         |
| 8    | 共通教育等科目 | 物理学Ⅰ               | 前学期 | 金2       | 理学部           | 稲岡 毅         | 理学部物質地球科学科 教授          |
| 9    | 共通教育等科目 | 天体観測を通して学ぶ宇宙       | 前学期 | 集中講義     | 理学部           | 松本 剛         | 理学部物質地球科学科 教授          |
| 10   | 共通教育等科目 | 海洋の科学              | 前学期 | 水7       | 理学部           | 松本 剛         | 理学部物質地球科学科 教授          |
| 11   | 共通教育等科目 | 海洋の科学              | 前学期 | 火1       | 理学部           | 松本 剛         | 理学部物質地球科学科 教授          |
| 12   | 共通教育等科目 | 化学Ⅰ                | 前学期 | 月5       | 理学部           | 漢那 洋子        | 理学部海洋自然科学科 准教授         |
| 13   | 共通教育等科目 | 環境エネルギー計画          | 前学期 | 木5       | 工学部           | 堤 純一郎        | 工学部工学科 教授              |
| 14   | 共通教育等科目 | 海外キャリア形成入門         | 前学期 | 集中講義     | グローバル教育支援機構   | 金城 和光        | グローバル教育支援機構 非常勤講師      |
| 15   | 共通教育等科目 | 地域企業(自治体)お題解決プログラム | 前学期 | 火5       | 共通教育等科目キャリア関係 | 松本 剛         | 理学部物質地球科学科 教授          |
| 16   | 専門教育科目  | 琉球史概論Ⅰ             | 前学期 | 月2       | 人文社会学部        | 豊見山 和行       | 人文社会学部琉球アジア文化学科 教授     |
| 17   | 専門教育科目  | 基礎労働法              | 前学期 | 火4       | 人文社会学部        | 戸谷 義治        | 人文社会学部国際法政学科 准教授       |
| 18   | 専門教育科目  | カウンセリング演習          | 前学期 | 木1       | 人文社会学部        | 田中 寛二        | 人文社会学部人間社会学科 准教授       |
| 19   | 専門教育科目  | エコツーリズム論・基礎        | 前学期 | 木3       | 国際地域創造学部      | 大島 順子        | 国際地域創造学部国際地域創造学科 准教授   |
| 20   | 専門教育科目  | 広告論                | 前学期 | 月2       | 国際地域創造学部      | 王 怡人         | 国際地域創造学部国際地域創造学科 教授    |
| 21   | 専門教育科目  | 観光マネジメント論          | 前学期 | 月5、木5    | 国際地域創造学部      | 桑原 浩         | 国際地域創造学部国際地域創造学科 教授    |
| 22   | 専門教育科目  | 経済学概論              | 前学期 | 木2       | 国際地域創造学部      | 越野 泰成        | 国際地域創造学部国際地域創造学科 教授    |
| 23   | 専門教育科目  | 口頭英語表現Ⅰ(英語スピーチ)    | 前学期 | 月3       | 国際地域創造学部      | 宮平 勝行        | 国際地域創造学部国際地域創造学科 教授    |
| 24   | 専門教育科目  | 社会人類学概論Ⅰ           | 前学期 | 木5       | 国際地域創造学部      | 稲村 務         | 国際地域創造学部国際地域創造学科 教授    |
| 25   | 専門教育科目  | フランス語表現Ⅰ           | 前学期 | 月3       | 法学部           | デルバール・フランク   | 国際地域創造学部国際地域創造学科 准教授   |
| 26   | 専門教育科目  | 実務フランス語Ⅰ           | 前学期 | 金3       | 法学部           | デルバール・フランク   | 国際地域創造学部国際地域創造学科 准教授   |
| 27   | 専門教育科目  | 理科教育法A[1組]         | 前学期 | 木6       | 教育学部          | 吉田 安規良       | 大学院教育学研究科 教授           |
| 28   | 専門教育科目  | 授業技術               | 前学期 | 月5       | 教育学部          | 吉田 安規良       | 大学院教育学研究科 教授           |
| 29   | 専門教育科目  | 生活科教育研究            | 前学期 | 火5       | 教育学部          | 白尾 裕志        | 大学院教育学研究科 教授           |
| 30   | 専門教育科目  | 熱力学                | 前学期 | 金4       | 理学部           | 前野 昌弘        | 理学部物質地球科学科 准教授         |
| 31   | 専門教育科目  | 物理学Ⅰ               | 前学期 | 木2       | 理学部           | 稲岡 毅         | 理学部物質地球科学科 教授          |
| 32   | 専門教育科目  | 海洋地質学              | 前学期 | 月3       | 理学部           | 古川 雅英        | 理学部物質地球科学科 教授          |
| 33   | 専門教育科目  | 物理化学Ⅱ              | 前学期 | 火3       | 理学部           | 漢那 洋子        | 理学部海洋自然科学科 准教授         |
| 34   | 専門教育科目  | 熱帯生物学概論            | 前学期 | 火5       | 理学部           | 山崎 秀雄 他      | 理学部海洋自然科学科 教授 他        |
| 35   | 専門教育科目  | フィジカルアセスメント        | 前学期 | 金3~4     | 医学部           | 眞栄城 千夏子 他    | 医学部保健学科 講師 他           |
| 36   | 専門教育科目  | 生態学・環境学            | 前学期 | 木1       | 農学部           | 辻 瑞樹         | 農学部亜熱帯農林環境科学科 教授       |
| 37   | 専門教育科目  | 作物学                | 前学期 | 水2       | 農学部           | 諏訪 竜一        | 農学部亜熱帯農林環境科学科 准教授      |
| 38   | 専門教育科目  | 土壌環境科学             | 前学期 | 金3       | 農学部           | 金城 和俊        | 農学部亜熱帯農林環境科学科 准教授      |
| 39   | 専門教育科目  | 森林微生物学             | 前学期 | 水2       | 農学部           | 亀山 統一        | 農学部亜熱帯農林環境科学科 助教       |
| 40   | 共通教育等科目 | 平和論                | 後学期 | 火4       | 人文社会学部        | 阿部 小涼 他      | 人文社会学部国際法政学科 教授 他      |
| 41   | 共通教育等科目 | 心の科学               | 後学期 | 月1       | 人文社会学部        | 田中 寛二        | 人文社会学部人間社会学科 准教授       |
| 42   | 共通教育等科目 | 環境と文学              | 後学期 | 火2       | 国際地域創造学部      | 山城 新         | 国際地域創造学部国際地域創造学科 教授    |
| 43   | 共通教育等科目 | インテンスフランス語Ⅱ        | 後学期 | 火2、金2    | 国際地域創造学部      | デルバール・フランク 他 | 国際地域創造学部国際地域創造学科 准教授 他 |
| 44   | 共通教育等科目 | インテンススペイン語Ⅱ        | 後学期 | 火2、金2    | 国際地域創造学部      | 福地 恭子 他      | 国際地域創造学部国際地域創造学科 講師 他  |
| 45   | 共通教育等科目 | 人間と物理学             | 後学期 | 水2       | 理学部           | 與儀 護         | 理学部物質地球科学科 准教授         |
| 46   | 共通教育等科目 | 物理学入門Ⅱ             | 後学期 | 火2       | 理学部           | 安田 千寿        | 理学部物質地球科学科 准教授         |
| 47   | 共通教育等科目 | 物理学Ⅱ               | 後学期 | 金2       | 理学部           | 稲岡 毅         | 理学部物質地球科学科 教授          |

| 授業番号 | 分類      | 授業科目名                                     | 学期  | 曜日<br>時限 | 開講学部              | 担当教員       | 担当教員の所属学部・学科等         |
|------|---------|-------------------------------------------|-----|----------|-------------------|------------|-----------------------|
| 48   | 共通教育等科目 | 琉球の自然保護                                   | 後学期 | 木5       | 理学部               | 横田 昌嗣 他    | 理学部海洋自然科学科 教授 他       |
| 49   | 共通教育等科目 | 環境影響評価概論                                  | 後学期 | 月5       | 工学部               | 堤 純一郎      | 工学部工学科 教授             |
| 50   | 共通教育等科目 | 教育政策史                                     | 後学期 | 火2       | 地域連携推進機構          | 柴田 聡       | 地域連携推進機構 准教授          |
| 51   | 共通教育等科目 | フランス語会話入門Ⅱ                                | 後学期 | 火3       | 共通教育等科目外国語科目      | デルバール・フランク | 国際地域創造学部国際地域創造学科 准教授  |
| 52   | 共通教育等科目 | キャリアデザインとジェンダー                            | 後学期 | 木7       | 共通教育等科目キャリア関係     | 喜納 育江 他    | 国際地域創造学部国際地域創造学科 教授 他 |
| 53   | 共通教育等科目 | 地域企業(自治体)お題解決プログラム                        | 後学期 | 火5       | 共通教育等科目キャリア関係     | 松本 剛       | 理学部物質地球科学科 教授         |
| 54   | 共通教育等科目 | 琉大特色・地域創生特別講義Ⅹ<br>(星空案内人養成講座)             | 後学期 | 集中講義     | 共通教育等科目琉大特色・地域創生科 | 松本 剛       | 理学部物質地球科学科 教授         |
| 55   | 共通教育等科目 | 琉大特色・地域創生特別講義Ⅱ<br>「政策立案能力強化プログラム」         | 後学期 | 集中講義     | 共通教育等科目琉大特色・地域創生科 | 島袋 純 他     | 教育学部社会科学教育学科 教授 他     |
| 56   | 共通教育等科目 | 総合特別講義Ⅴ「ソーシャルキャピタル<br>構築講座(島マス記念塾 in 琉大)」 | 後学期 | 土3~5     | 共通教育等科目総合科目       | 本村 真 他     | 人文社会学部人間社会学科 教授 他     |
| 57   | 共通教育等科目 | 総合特別講義Ⅵ<br>「クラウドファンディング実践講座」              | 後学期 | 土3~5     | 共通教育等科目総合科目       | 畑中 寛       | 地域連携推進機構 特命准教授        |
| 58   | 共通教育等科目 | 総合特別講義Ⅶ<br>「ファシリテーションの技法と地域振興」            | 後学期 | 土3~5     | 共通教育等科目総合科目       | 畑中 寛       | 地域連携推進機構 特命准教授        |
| 59   | 共通教育等科目 | 総合特別講義Ⅷ「地域円卓会議<br>マネジメントの技法と実践」           | 後学期 | 土3~5     | 共通教育等科目総合科目       | 畑中 寛       | 地域連携推進機構 特命准教授        |
| 60   | 専門教育科目  | 応用労働法                                     | 後学期 | 火4       | 人文社会学部            | 戸谷 義治      | 人文社会学部国際法政学科 准教授      |
| 61   | 専門教育科目  | 琉球史概論Ⅱ                                    | 後学期 | 木2       | 人文社会学部            | 大浜 郁子      | 人文社会学部琉球アジア文化学科 准教授   |
| 62   | 専門教育科目  | 非行と犯罪の心理学                                 | 後学期 | 金1       | 人文社会学部            | 田中 寛二      | 人文社会学部人間社会学科 准教授      |
| 63   | 専門教育科目  | 観光地における観光教育                               | 後学期 | 金2       | 国際地域創造学部          | 大島 順子      | 国際地域創造学部国際地域創造学科 准教授  |
| 64   | 専門教育科目  | マーケティング入門                                 | 後学期 | 火6       | 国際地域創造学部          | 王 怡人       | 国際地域創造学部国際地域創造学科 教授   |
| 65   | 専門教育科目  | 社会科学のためのゲーム論入門                            | 後学期 | 水6       | 国際地域創造学部          | 堀 勝彦       | 国際地域創造学部国際地域創造学科 准教授  |
| 66   | 専門教育科目  | 口頭英語表現Ⅱ(英語ディベート)                          | 後学期 | 木5       | 国際地域創造学部          | 宮平 勝行      | 国際地域創造学部国際地域創造学科 教授   |
| 67   | 専門教育科目  | 現代イギリス文学                                  | 後学期 | 木4       | 国際地域創造学部          | 石川 隆士      | 国際地域創造学部国際地域創造学科 教授   |
| 68   | 専門教育科目  | 経済政策特殊講義Ⅳ<br>「社会的インパクト投資概論」               | 後学期 | 集中講義     | 法文学部              | 高畑 明尚      | 国際地域創造学部国際地域創造学科 教授   |
| 69   | 専門教育科目  | フランス文化研究Ⅲ                                 | 後学期 | 金5       | 法文学部              | デルバール・フランク | 国際地域創造学部国際地域創造学科 准教授  |
| 70   | 専門教育科目  | フランス語表現Ⅱ                                  | 後学期 | 金4       | 法文学部              | デルバール・フランク | 国際地域創造学部国際地域創造学科 准教授  |
| 71   | 専門教育科目  | 物理数学Ⅳ                                     | 後学期 | 水2       | 理学部               | 福岡 毅       | 理学部物質地球科学科 教授         |
| 72   | 専門教育科目  | 天文学序説                                     | 後学期 | 火3       | 理学部               | 松本 剛       | 理学部物質地球科学科 教授         |
| 73   | 専門教育科目  | 物理化学Ⅳ                                     | 後学期 | 火1       | 理学部               | 渡那 洋子      | 理学部海洋自然科学科 准教授        |
| 74   | 専門教育科目  | 物性物理化学                                    | 後学期 | 火2       | 理学部               | 玉城 喜章      | 理学部海洋自然科学科 准教授        |
| 75   | 専門教育科目  | 熱帯生物生産学概論                                 | 後学期 | 火5       | 理学部               | 池田 譲 他     | 理学部海洋自然科学科 教授 他       |
| 76   | 専門教育科目  | 確率及び統計                                    | 後学期 | 水1       | 工学部               | 小野 尋子      | 工学部工学科 准教授            |
| 77   | 専門教育科目  | 画像処理                                      | 後学期 | 木3       | 工学部               | 長山 格       | 工学部工学科 准教授            |
| 78   | 専門教育科目  | 緩和ケア特論                                    | 後学期 | 木5       | 医学部               | 照屋 典子      | 医学部保健学科 助教            |
| 79   | 専門教育科目  | 緩和ケア特別演習                                  | 後学期 | 木6       | 医学部               | 照屋 典子      | 医学部保健学科 助教            |
| 80   | 専門教育科目  | 生活援助看護技術Ⅰ                                 | 後学期 | 集中講義     | 医学部               | 豊里 竹彦 他    | 医学部保健学科 教授 他          |
| 81   | 専門教育科目  | 進化生態学                                     | 後学期 | 水1       | 農学部               | 辻 瑞樹       | 農学部亜熱帯農林環境科学科 教授      |
| 82   | 専門教育科目  | 熱帯エネルギー作物学                                | 後学期 | 木2       | 農学部               | 諏訪 竜一      | 農学部亜熱帯農林環境科学科 准教授     |
| 83   | 専門教育科目  | 環境土壌学                                     | 後学期 | 金1       | 農学部               | 金城 和俊      | 農学部亜熱帯農林環境科学科 准教授     |
| 84   | 専門教育科目  | 森林保護学                                     | 後学期 | 木3       | 農学部               | 亀山 統一      | 農学部亜熱帯農林環境科学科 助教      |
| 85   | 専門教育科目  | 教育の社会史                                    | 後学期 | 火4       | 地域連携推進機構          | 背戸 博史      | 地域連携推進機構 教授           |

### 1 琉球大学サテライトキャンパス

琉球大学では、自治体と連携・協力し地域を志向した教育・研究・社会貢献、地域の再生・活性化の拠点となる大学の形成を目的とした「地（知）の拠点整備事業」（文部科学省）に申請し、「ちゅら島の未来を創る知の津梁（かけ橋）（以降「ちゅら島事業」という）」事業が平成25年度に採択されました。

ちゅら島事業では、県内の島嶼部を含む複数の地域に琉球大学サテライトキャンパスを設置し、「能力強化プログラム（自治体職員の政策形成能力強化等）」や「学び直しの機会拡充プログラム（公開講座等の実施）」を提供することで、地域との共同による地域人材の育成を推進し、大学と地域がより結びついた学びのコミュニティモデルの構築を推進することを目指して平成25年度から平成27年度にかけて以下の6カ所の施設内に「琉球大学サテライトキャンパス」を設置しました。

- (1) 那覇キャンパス：那覇市牧志駅前ほしぞら公民館（那覇市安里2丁目1番1号）
- (2) 宮古島キャンパス：宮古島市未来創造センター（宮古島市平良字東仲宗根807番地）
- (3) 石垣キャンパス：石垣市立図書館（石垣市浜崎町1丁目1番地）
- (4) 久米島キャンパス：久米島町具志川農村環境改善センター（久米島町字仲泊730番地）
- (5) 国頭キャンパス：国頭村民ふれあいセンター（国頭村辺土名112）
- (6) 大宜味キャンパス：大宜味村農村活性化センター（大宜味村字根路銘1373）



那覇キャンパス



宮古島キャンパス



石垣キャンパス



久米島キャンパス



国頭キャンパス



大宜味キャンパス

### 2 サテライト教育システム（別添1）

琉球大学サテライトキャンパスには、当該サテライトキャンパスと本学（地域国際学習センター301講義室及び共通教育棟118教室）とをインターネットを活用してつなぐ「サテライト教育システム（ビデオ会議システム）」を設置しました。これにより、琉球大学主催の公開講座や公開授業、シンポジウム等を各サテライトへライブ配信したり、本学と各サテライトとの双方向でのやりとりが可能です。

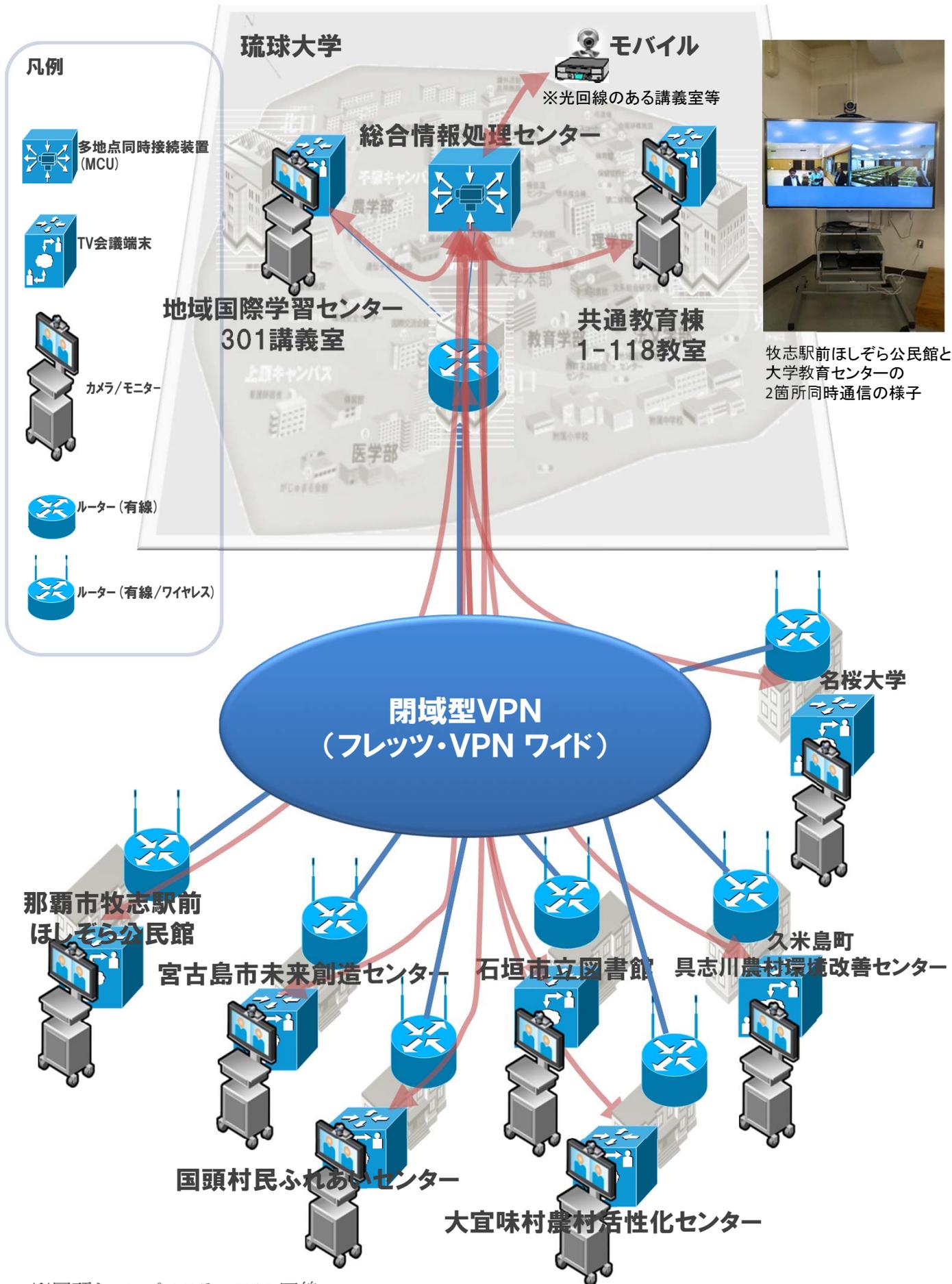
### 3 琉球大学サテライトキャンパスの活用（別添2）

2019年度は、本学の公開講座及び公開授業の一部を各サテライトキャンパスへ配信しました。

（配信コンテンツ）

- ・公開授業「海洋の科学（理学部）」 等
- ・公開講座「沖縄の公害問題で考える平和学習」 等

# サテライト教育システム構成概略図



※国頭キャンパスのみADSL回線

琉球大学における正規の授業を一般市民に公開すること  
に関する申合せ

平成29年12月19日  
グローバル教育支援機構会議

この申合せは、琉球大学の正規の授業を一般市民に公開すること（以下「授業の公開」という。）に関し必要な事項を定める。

- 1 授業の公開は、正規の授業の「共通教育等科目」及び「専門教育科目」のうち、担当教員が申し出たもの（以下「公開授業」という。）について行う。
- 2 公開授業を聴講できる一般市民の定員は、若干名とする。なお、聴講する一般市民を募集する際は、「本学の学生のみで教室の収容定員を超える場合は、聴講できないことがある。」旨を明記する。
- 3 公開授業とする授業科目については、時間割又はシラバスへの記載あるいはその他の方法により事前に学生へ周知する。
- 4 公開授業を聴講する一般市民への単位の認定は行わない。
- 5 公開授業は、公開講座の位置づけとし、企画・運営等は地域連携推進機構がグローバル教育支援機構と連携して実施する。
- 6 この申合せの改廃は、グローバル教育支援機構会議の議を経てグローバル教育支援機構長が行う。

附 則

- 1 この申合せは、平成29年12月19日から実施する。
- 2 正規の授業を一般市民に公開することに関する申合せ（平成14年1月22日全学教育委員会決定）は、廃止する。

元文科教第458号  
令和元年10月23日

琉球大学 学長 殿

文部科学省総合教育政策局長

浅田 和 伸



令和元年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰について（通知）

このことについて、「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰要項に基づき、貴学を表彰することに決定しましたのでお知らせします。

については、下記のとおり表彰式を開催しますので、御出席願います。

記

- 1 日 時 令和元年12月3日（火）13:00～14:00
- 2 場 所 文部科学省 東館3階 第一講堂  
所在地 東京都千代田霞が関3-2-2

（補足）

- 表彰式終了後、同会場にて事例発表会（14:30～16:30）を開催予定です。
- 表彰式の詳細については、後日事務連絡にてお知らせします。

<本件担当>

文部科学省総合教育政策局  
男女共同参画共生社会学習・安全課  
障害者学習支援推進室

TEL：03-6734-3460

FAX：03-6734-3719

E-mail：sst@mext.go.jp

## 令和元年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰 被表彰対象者一覧

| 通し<br>番号      | 推薦者名<br>(都道府県・<br>指定都市等) | 被表彰者の名称<br>(個人名・団体名)     | 功労:A<br>奨励:B | 開始年月     | 活動名称                                    | 活動の分類      |                      |
|---------------|--------------------------|--------------------------|--------------|----------|-----------------------------------------|------------|----------------------|
|               |                          |                          |              |          |                                         | 分野         | 主な対象                 |
| 【都道府県・指定都市関係】 |                          |                          |              |          |                                         |            |                      |
| 1             | 北海道                      | 樋口 幸治                    | A            | 2000年7月  | ポッチャ等、障がい者スポーツの普及                       | スポーツ       | 重度障がい者               |
| 2             |                          | 「いっしょにね！文化祭」実行委員会        | B            | 2014年4月  | 障がい者の文化活動の推進<br>障がい理解の促進                | 文化         | 障害種問わず               |
| 3             | 青森県                      | 福沢 和彦                    | A            | 1981年4月  | 「ポッチャ」「フライングディスク」を通した<br>障害者スポーツの支援     | スポーツ       | 知的障害、肢体不自由           |
| 4             |                          | 野澤 英二                    | A            | 1992年4月  | 障害者の生涯スポーツ体験学習への支援                      | スポーツ       | 知的障害、肢体不自由           |
| 5             | 岩手県                      | 山田町朗読ボランティア              | A            | 1987年6月  | 声の広報(広報やまだ音声訳ボランティア)                    | 町広報の朗読録音   | 町内在住の視覚障害者           |
| 6             |                          | 障がい者観光サポーターの会            | B            | 2010年3月  | 障がい者観光サポーターの会                           | 学習、スポーツ、文化 | 久慈地域を観光で訪れる障がい者とその家族 |
| 7             | 秋田県                      | 北秋田市障害者生活支援センター「ささえ」     | A            | 2007年4月  | 北秋田市障害者生活支援センター「ささえ」                    | 学習、文化、カフェ  | すべて(主に知的・精神・身体)      |
| 8             |                          | 秋田県特別支援学校体育連盟            | B            | 2002年4月  | 秋田県特別支援学校体育連盟強化選手育成に係る取組を通した生涯学習支援      | スポーツ       | 知的障害                 |
| 9             | 山形県                      | 山形県障害者スポーツ指導者協議会         | A            | 1995年4月  | 障がい者スポーツの普及と振興                          | スポーツ       | すべて(主に知的障害、身体障害)     |
| 10            | 福島県                      | 福島市中央学習センター<br>しゃくなげ青年講座 | A            | 1969年10月 | しゃくなげ青年講座                               | 学習、スポーツ、文化 | すべて(主に知的障がい)         |
| 11            |                          | 手話サークル「くりおね会」            | A            | 1995年2月  | 手話サークル「くりおね会」                           | 学習         | 聴覚・言語障害              |
| 12            | 茨城県                      | 長野 正文                    | A            | 1979年4月  | 障害者のスポーツ活動支援                            | スポーツ       | 障がい児・者               |
| 13            | 栃木県                      | あすなろ青年教室実施委員会            | A            | 1967年    | 「あすなろ青年教室」(15～30歳まで)<br>「ひのきクラブ」(30歳以上) | 学習、スポーツ、文化 | 心身に障がいがある方           |

| 通し<br>番号 | 推薦者名<br>(都道府県・<br>指定都市等) | 被表彰者の名称<br>(個人名・団体名) | 功労:A<br>奨励:B | 開始年月     | 活動名称                                           | 活動の分類            |                   |
|----------|--------------------------|----------------------|--------------|----------|------------------------------------------------|------------------|-------------------|
|          |                          |                      |              |          |                                                | 分野               | 主な対象              |
| 14       | 群馬県                      | おうら青年学級              | A            | 2004年4月  | おうら青年学級                                        | スポーツ、文化、動物園見学など  | 軽度の知的障害がある青年      |
| 15       | 埼玉県                      | こだま文庫                | A            | 1974年4月  | 録音図書製作事業等                                      | 学習、文化            | 視覚障害者             |
| 16       |                          | 齊藤 禮子                | A            | 1984年4月  | 埼玉県立図書館音訳者、デジター編集者<br>音訳講師                     | 学習、文化            | 視覚障害・発達障害・肢体不自由等  |
| 17       | 千葉県                      | 市原ボッチャクラブ            | A            | 2002年4月  | パラスポーツ「ボッチャ」の競技力向上を目指す選手育成活動<br>「ボッチャ」普及・振興活動  | 学習、スポーツ          | 身体障害者、知的障害者、視覚障害者 |
| 18       | 東京都                      | ヘルマンハーブちよだ           | B            | 2010年2月  | ヘルマンハーブちよだ                                     | 文化、演奏            | 知的障害者とその保護者       |
| 19       |                          | 特定非営利活動法人練馬区水泳連盟     | A            | 1985年4月  | ノーマライゼーション水泳フェスティバルの開催<br>障害者専用コースの運営          | スポーツ             | すべて(主に身体障害、知的障害者) |
| 20       |                          | 池原 照代                | A            | 1967年    | 新宿青年教室                                         | 文化               | 15歳以上の知的障害のある方    |
| 21       | 神奈川県                     | 綾瀬市録音赤十字奉仕団 コスモスの会   | A            | 1983年5月  | 広報あやせ・社協だより・市議会だよりの音訳、会員勉強会、会員研修、講師等           | 障がい者支援           | 視覚障がい者            |
| 22       |                          | 横須賀市点訳奉仕会            | B            | 1961年9月  | 点訳奉仕                                           | 点訳奉仕             | 視覚障害者             |
| 23       | 新潟県                      | 十小・十中・ふれあいの丘 ほほえみの会  | A            | 1963年6月  | 特別支援学級と支援学校の保護者や教職員ボランティア、地域ボランティアによる交流や協力及び支援 | 文化               | すべて(主に知的障害)       |
| 24       | 岐阜県                      | 二村 元子                | B            | 2000年4月  | 障がい者芸術支援                                       | 文化               | すべて(主に知的)         |
| 25       | 静岡県                      | ふじのくに チーム★輝き         | B            | 2009年10月 | 障害者芸術発表会「ようこそ ふじのくに チーム★輝き ワールドへ」              | スポーツ、文化、障害に関する講話 | すべて(主に知的障害)       |

| 通し<br>番号 | 推薦者名<br>(都道府県・<br>指定都市等) | 被表彰者の名称<br>(個人名・団体名)                | 功労・A<br>奨励・B | 開始年月     | 活動名称                                                   | 活動の分類        |                                                  |
|----------|--------------------------|-------------------------------------|--------------|----------|--------------------------------------------------------|--------------|--------------------------------------------------|
|          |                          |                                     |              |          |                                                        | 分野           | 主な対象                                             |
| 26       | 愛知県                      | 音訳・みずぐるま                            | A            | 1984年4月  | 録音図書の作成                                                | 文化           | 視覚障害者                                            |
| 27       |                          | 豊田市中央図書館<br>点訳グループ                  | A            | 1999年9月  | 点字本製作                                                  | 学習、文<br>化、郷土 | 視覚障害者                                            |
| 28       | 三重県                      | 株式会社<br>三厚連ウイズ                      | B            | 2013年2月  | 会社を拠点とした余暇活動支援                                         | 社会教育         | 知的障がい者                                           |
| 29       | 大阪府                      | 茨木市バラの会                             | A            | 1978年2月  | 茨木市バラの会                                                | 文化           | 視覚障がい                                            |
| 30       |                          | グループ藍野                              | A            | 1975年7月  | グループ藍野                                                 | 文化           | 活字による読書が<br>困難な人(視覚障<br>がい、発達障がい、<br>身体障がい<br>等) |
| 31       | 島根県                      | 社会福祉法人島根ラ<br>イトハウス ライトハ<br>ウスライブラリー | A            | 1962年8月  | ライトハウスライブラリー                                           | 学習、文化        | 視覚障がい                                            |
| 32       | 岡山県                      | 岡山県<br>グラウンド・ゴルフ協<br>会              | A            | 2006年    | 岡山県グラウンド・ゴルフ特別支援学校<br>交歓大会の開催<br>県内特別支援学校への用具一式の寄<br>贈 | スポーツ         | 知的障害、肢体不<br>自由、聴覚障害、<br>視覚障害、病弱者                 |
| 33       | 広島県                      | 社会福祉法人広島岳<br>心会障害者支援施設<br>野呂山学園     | A            | 1982年4月  | 障害者が能動的に創作活動に取り組む<br>文化芸術活動支援                          | 文化           | 知的障害、精神障<br>害                                    |
| 34       |                          | 戸谷営農組合                              | B            | 2013年4月  | アンプティサッカーの里づくり                                         | スポーツ         | 肢体不自由                                            |
| 35       | 山口県                      | 一般社団法人山口県<br>身体障害者団体連合<br>会         | A            | 1962年3月  | 障害者わくわく体験教室・ステップアップ<br>いきいき講座<br>県障害者芸術文化祭             | 学習、文化        | 身体障害児・者                                          |
| 36       | 徳島県                      | 鳴門教育大学附属特<br>別支援学校青年学級              | A            | 1966年4月  | 鳴門教育大学附属特別支援学校青年<br>学級                                 | スポーツ、<br>文化  | 鳴門教育大学付<br>属特別支援学校<br>卒業生                        |
| 37       |                          | 徳島盲ろう者友の会<br>ふうわ部                   | B            | 2017年4月  | ふうわ部定例会                                                | 学習           | 先天性盲ろう児者                                         |
| 38       | 愛媛県                      | 要約筆記オリーブま<br>さき                     | A            | 1997年12月 | 障がい者のための要約筆記                                           | 学習           | 聴覚障害                                             |
| 39       | 高知県                      | 片岡 光                                | A            | 2009年4月  | 総合型スポーツクラブ「高知チャレンジド<br>クラブ」バドミントンサークル「スマッシュ」           | スポーツ         | 身体・知的・精神                                         |

| 通し<br>番号 | 推薦者名<br>(都道府県・<br>指定都市等) | 被表彰者の名称<br>(個人名・団体名)         | 功労:A<br>奨励:B | 開始年月     | 活動名称                                   | 活動の分類                |                                        |
|----------|--------------------------|------------------------------|--------------|----------|----------------------------------------|----------------------|----------------------------------------|
|          |                          |                              |              |          |                                        | 分野                   | 主な対象                                   |
| 40       | 福岡県                      | 井上 直子                        | A            | 2001年2月  | 手話・筆記を交えた生け花の指導                        | 学習、文化                | 聴覚障害、精神障害                              |
| 41       |                          | 虹の会                          | A            | 1979年9月  | 情報提供(声の広報)                             | 学習                   | 視覚障がい者                                 |
| 42       | 佐賀県                      | 社会福祉法人 はる                    | B            | 2015年8月  | 障がいのある方の芸術文化活動普及支援                     | 文化                   | すべて(主に知的障害)                            |
| 43       | 熊本県                      | 社会福祉法人 熊本市手をつなぐ育成会           | A            | 1960年頃   | 本人都会「つなごう会」                            | 学習、スポーツ、文化、障がいの当事者活動 | 学校を卒業した知的障がいのある青年、成人                   |
| 44       |                          | 熊本県障害児・者親の会連合会               | A            | 1980年4月  | 障害者の生涯学習支援                             | 学習、文化                | 知的障害、重症心身障害、てんかん、肢体不自由、聴覚障害            |
| 45       | 大分県                      | 大分県知的障害者施設協議会                | A            | 1981年    | 大分県ゆうあいスポーツ大会                          | スポーツ                 | 知的障害児・者施設の児童及び成人者                      |
| 46       | 宮崎県                      | 壹岐 博彦                        | A            | 1995年    | 霧島おむすび自然学校を通じた自然体験活動の実践                | 自然体験・野外活動            | 知的障がい、発達障がい                            |
| 47       | 札幌市                      | 一般社団法人札幌市手をつなぐ育成会            | A            | 1983年4月  | トライ青年学級                                | 学習、スポーツ、文化           | 知的障がい者                                 |
| 48       | 静岡市                      | 特定非営利活動法人しずおか障がい者フライングディスク協会 | A            | 2001年3月  | 障がい者スポーツ                               | スポーツ                 | すべて(主に知的障がい)                           |
| 49       | 浜松市                      | 社会福祉法人引佐すみれの会<br>引佐草の根作業所    | A            | 1990年7月  | 心身障害者への生涯学習支援<br>地域との交流行事開催            | 文化                   | 障害者(知・精・身・発達)                          |
| 50       | 京都市                      | 特定非営利活動法人<br>障害者芸術推進研究機構     | A            | 2006年12月 | 障害者の生涯にわたる芸術活動の場の創出                    | 文化                   | 市立総合支援学校在校生・卒業生、本市在住等の障害のある方で自主通所が可能な方 |
| 51       | 福岡市                      | 大濠公園ブラインドランナーズクラブ            | A            | 2007年4月  | ジョギングやウォーキングを希望する視覚障がい者を伴走者としてサポートする活動 | スポーツ                 | 視覚障害                                   |
| 52       | 熊本市                      | 社会福祉法人西部福祉会                  | A            | 1988年4月  | 中島小学校とゆたか学園の交流                         | 学習、スポーツ、文化、まちづくり     | 知的障害                                   |

| 通し<br>番号    | 推薦者名<br>(都道府県・<br>指定都市等)                  | 被表彰者の名称<br>(個人名・団体名)            | 功労・A<br>奨励・B | 開始年月     | 活動名称                                                                      | 活動の分類                         |                                |
|-------------|-------------------------------------------|---------------------------------|--------------|----------|---------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|
|             |                                           |                                 |              |          |                                                                           | 分野                            | 主な対象                           |
| 【文部科学省推薦関係】 |                                           |                                 |              |          |                                                                           |                               |                                |
| 1           | 特別支援教育<br>＜全国特別支<br>援教育推進連<br>盟＞          | 松本 久美子                          | A            | 1969年4月  | 視覚障害者のための音訳活動<br>音訳者・音訳者を目指す人達への指導                                        | 学習、音訳                         | 視覚障害者、音訳<br>ボランティアの希<br>望者     |
| 2           |                                           | 日本ヘルマンハーブ<br>振興会                | B            | 2004年7月  | ヘルマンハーブで目指す全員参加型の<br>演奏活動                                                 | 学習、文化                         | 知的障害、発達障<br>害、染色体異常、<br>視覚障害   |
| 3           | 障害者スポー<br>ツ＜日本障が<br>い者スポーツ<br>協会＞         | 安西 清美                           | A            | 1984年4月  | 障がい者スポーツの普及・促進活動<br>障がい者スポーツ指導者の組織化及び<br>活用                               | スポーツ                          | 障がい者                           |
| 4           |                                           | 一般社団法人日本パ<br>ラ陸上競技連盟            | A            | 1989年3月  | パラリンピック等国际大会での選手の活<br>躍に向けた事業、日本パラ陸上競技選<br>手権大会等国内大会の開催、地域での<br>パラ陸上の普及活動 | スポーツ                          | 身体障がい者及<br>びその関係者              |
| 5           | 障害者文化芸<br>術活動＜全国<br>芸術系大学コ<br>ンソーシアム<br>＞ | 武蔵野音楽大学<br>ミュージックセラピー<br>研究部    | B            | 1984年4月  | 武蔵野音楽大学ミュージックセラピー研<br>究部の定期活動                                             | 文化                            | 身体障害、知的障<br>害、特養、老健、<br>デイサービス |
| 6           | 大学における<br>学習<br>＜各大学＞                     | 若竹ミュージカル                        | A            | 1993年7月  | 若竹ミュージカル                                                                  | 文化                            | 知的障害者                          |
| 7           |                                           | 新潟大学工学部工学科<br>人間支援感性科学<br>プログラム | A            | 2003年10月 | 新潟大学公開講座「視覚障がい者のた<br>めのパソコン講習」                                            | 学習、生活<br>支援、就<br>学・就労支<br>援   | 視覚障がい者                         |
| 8           |                                           | 金沢大学附属特別支<br>援学校兼友親子のつ<br>どい    | A            | 1987年4月  | 兼友親子のつどい                                                                  | スポーツ、<br>文化                   | 知的障害者(本校<br>卒業生)               |
| 9           |                                           | 障☆スポSCサークル                      | B            | 2010年5月  | 障がい者スポーツイベントの開催および<br>参加                                                  | 学習・ス<br>ポーツ                   | 障がい者全般、健<br>常小中学生              |
| 10          |                                           | 九州ルーテル学院大<br>学ダウン症支援部           | A            | 2003年4月  | ダウン症児・者への生涯学習支援活動                                                         | ダウン症<br>児・者への<br>生涯学習<br>支援活動 | ダウン症児・者(知<br>的障害児・者)           |
| 11          |                                           | 選挙コンシェルジュ鹿<br>児島                | B            | 2015年4月  | 選挙コンシェルジュ鹿児島                                                              | 学習、啓発<br>活動                   | すべて(特に発達<br>障害)                |
| 12          |                                           | 琉球大学博物館(風<br>樹館)                | A            | 2007年4月  | 大学博物館による特別支援学校及び<br>院内学級への教育支援                                            | 学習                            | すべて(主に身体<br>障害・知的障害・<br>発達障害)  |



企業の皆様へ

研究シーズ

特許情報

〇〇 研究者一覧

ライフサイエンス / 環境・エネルギー / 製造技術 / 材料・デバイス / 機械 / 建築・土木 / 情報・通信 / 計測・分析 / 社会貢献 / 農林水産 / その他

## タイトルの変更

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## タグの追加 + タグから検索可能に

人気の検索ワード: 沖縄

### 研究シーズ SEEDS

|                                                                           |                                                                              |                                                           |                                                           |
|---------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| <p>ハイブリッドベトリネットによる生産プロセスのモデリングとスケジューリング</p> <p>名嘉村 盛和 教授</p> <p>情報・通信</p> | <p>認知的評価を用いた物語読後感情の推定に関する研究</p> <p>高橋 愛見 准教授</p> <p>情報・通信</p>                | <p>次世代型インテリジェント防犯カメラシステム</p> <p>長山 裕 准教授</p> <p>情報・通信</p> | <p>多目的型インテリジェントローションシステム</p> <p>長山 裕 准教授</p> <p>情報・通信</p> |
| <p>単細胞生物繊毛虫の学習行動を生み出す行動知アルゴリズムに関する研究</p> <p>岡田 樹 助教</p> <p>情報・通信</p>      | <p>屋外展示施設におけるAR (拡張現実) を用いたガイドダンスシステムに関する研究</p> <p>赤嶺 有平 助教</p> <p>情報・通信</p> | <p>プロット類似に基づく情報検索</p>                                     | <p>3次元集積回路装置の製造方法</p>                                     |
| <p>ピロティフレームを備えた建築物の耐震補強方法</p> <p>山川 百雄 教授</p> <p>製造技術</p>                 | <p>プラズマ生成装置及び方法</p> <p>米浜 崇 教授</p> <p>製造技術</p>                               |                                                           |                                                           |
| <p>亜熱帯島嶼環境下における銅極の腐食環境特性 評価に関する研究</p> <p>下里 哲弘 教授</p> <p>製造技術</p>         | <p>浴盛の蛍光指数と品質特性に関する基礎的検討</p> <p>平良 英三 教授</p> <p>製造技術</p>                     |                                                           |                                                           |

研究シーズ
その他

## 沖縄県における女性社員活性化に向けた研究

琉球大学 国際地域創造学部 国際地域創造学科  
牛産 潔 教授 (ワシゴボ キヨシ)  
修士

**【専門分野・研究分野等】**  
人的資源管理論、中小企業経営論、経営管理論

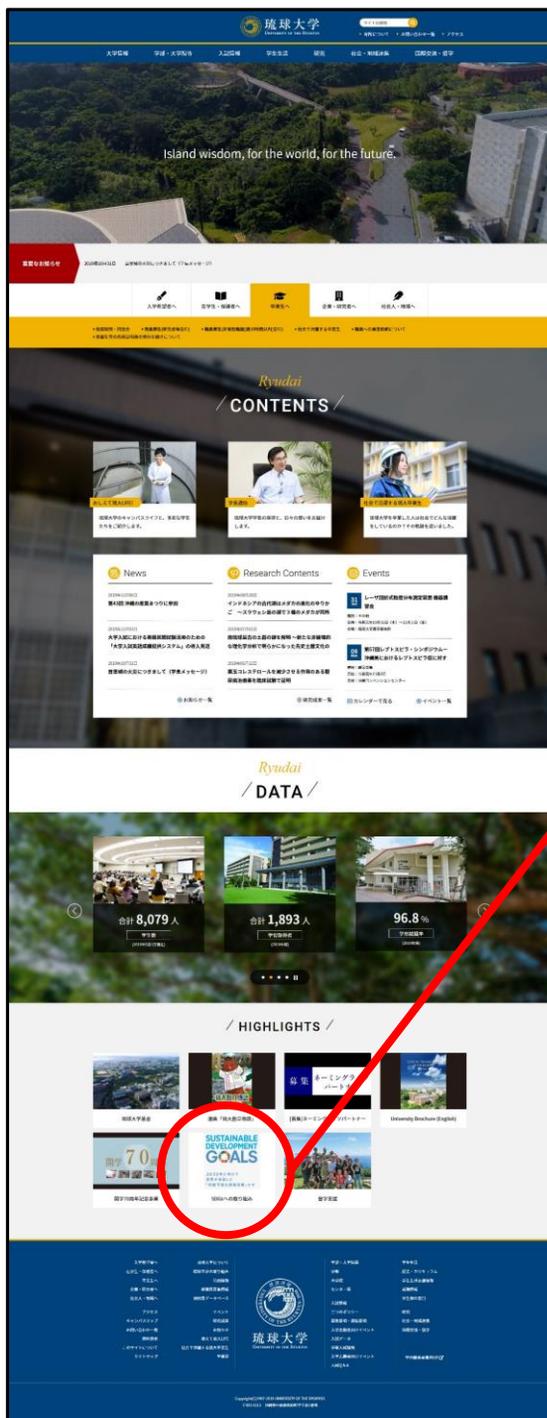
---

### 研究シーズの内容

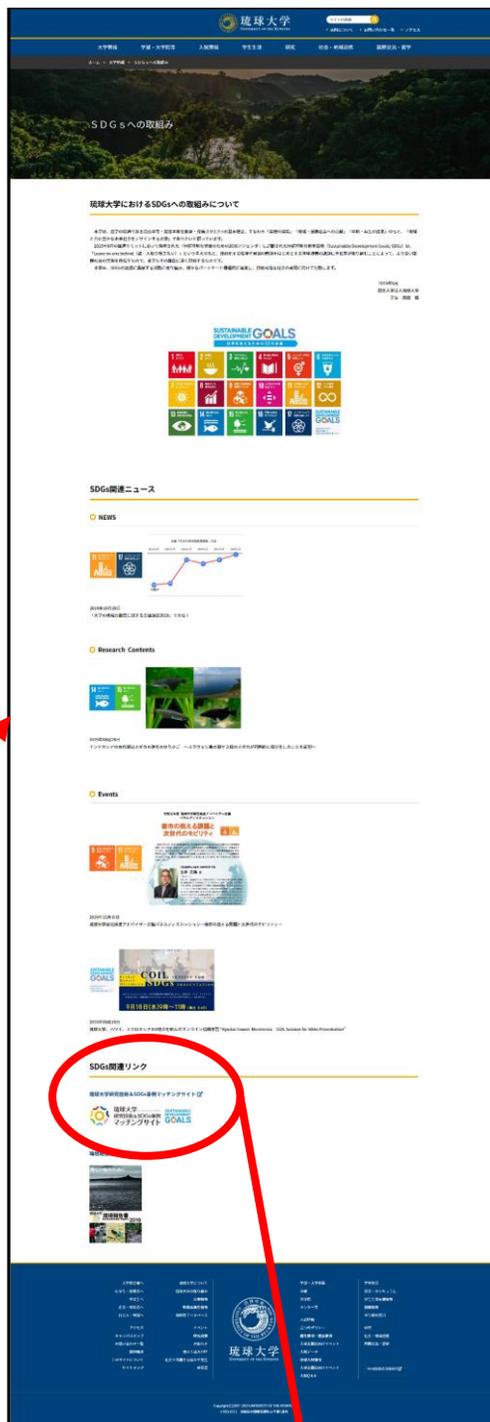
平成11年4月より、男女雇用機会均等法が改正・施行され、また同年6月より男女共同参画社会基本法が公布・施行された。この背景には、女性の職業観やライフスタイルの変化、それに伴う勤続年齢の伸長・雇用の拡大、さらには少子高齢化の進展といった社会経済構造の急速な変化によって、女性の就業に関する考え方や制度を根本から見直す時代に入ってきたといえよう。すなわち、女・性と男性が、公平・公正な立場で、性別にとらわれないことなく、お互いの優・性と劣を認識し合い、協働的成果を創り上げていくことが重要なテーマ

## 各シーズにタグを表示 (複数表示が可能)

公式HP：トップページ



公式HP：SDGsの取組について



琉球大学研究技術 & SDGs事例マッチングサイト

※公式 HP、産学官連携部門 HP、学内広報にて掲載中

## 第 43 回 沖縄の産業まつりに参加

第 43 回「沖縄の産業まつり」が 10 月 25 日(金)～27 日(日)の 3 日間、那覇市の奥武山公園と県立武道館で開催され、「うちなーの 未来をつくる 県産品」をテーマに、6 つの会場で多くの企業や団体、個人が出展しました。

琉球大学は、県立武道館において、沖縄産学官イノベーション創出協議会の参加機関として、パネル展示（ミニ・オープンラボ）を実施しました。

パネル展示では、下記のとおり出展を行いました。

- ① 荒川 雅志 教授(国際地域創造学部)
  - 【テーマ】「沖縄コーヒー」の 6 次産業化ブランド構築事業～1 次産業の底上げと新たなツーリズムの創造～
  - 【内 容】県産コーヒーの栽培拡大とブランド化を目的とした沖縄コーヒー協会との産学官連携プロジェクト取組紹介
- ② 瀬名波 出 教授(工学部)
  - 【テーマ】新次元に突入する水産業～流れが CO2 を資源に変える～
  - 【内 容】AI+IoT を組み合わせる新次元の海藻養殖システムを構築し、温暖化ガス(CO2)を有効資源として活かす炭素回生サイクル構築の紹介
- ③ 渡嘉敷 健 准教授(工学部)
  - 【テーマ】沖縄県内コンクリート住宅内部騒音対策及び金属屋根の降雨低減実験の紹介
  - 【内 容】コンクリート住宅内部の音問題を解決する材料や構法の紹介
- ④ 研究基盤センター
  - 【テーマ】大学の研究機器を利用してみませんか？
  - 【内 容】研究基盤センターが提供している学外向けサービス（受託試験、学外ユーザー分析、セミナー、液体窒素供給（教育機関限定））紹介
- ⑤地域連携推進機構 産学官連携部門
  - 【テーマ】1. 「琉球大学ブランド商品開発支援事業」商品紹介  
2. 「イノベーション創出人材育成事業」事業紹介
  - 【内 容】1. 平成 28 年度から実施する当該事業の支援で開発された 6 商品の紹介および今年度の開発商品の試食  
2. 起業家支援を行う事業の取組紹介および事業にて支援を行っている起業家の紹介

※詳細・ポスターデータについては、下記リンク先にて確認が可能です。

産学部門 HP : <https://iicc.skr.u-ryukyu.ac.jp/news/1587.php>

※公式 HP、産学官連携部門 HP、学内広報にて掲載中



「産学官イノベーション創出展」の様子



琉球大学のブース

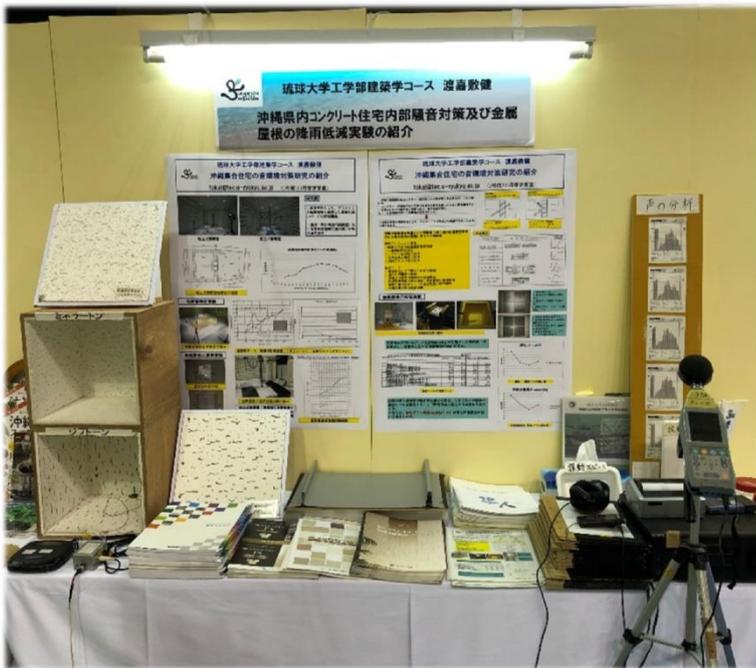


①荒川 雅志 教授(国際地域創造学部)のブース



②瀬名波 出 教授(工学部)のブース

※公式 HP、産学官連携部門 HP、学内広報にて掲載中



③渡嘉敷 健 准教授(工学部)のブース



④研究基盤センターのブース



⑤-1 「琉球大学ブランド商品開発支援事業」商品紹介のブースと試食の様子



⑤-2 「イノベーション創出人材育成事業」事業紹介のブース及びステージ前での起業家の紹介

令和元年11月15日以降 各室・部門の当面の活動予定（主要事項）について

※前回からの追記事項は赤字入力

| 組織名             | 主要事項                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>地域連携企画室</p>  | <p>○目的別人材育成プログラムの開発・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域企業（自治体）お題解決プログラム(後学期火5限)</li> <li>・IoTシステムセキュリティ実践講座（7/20（土）～2/15（土）全4回）</li> <li>・地域の子どもを支援するインクルーシブ教育推進人材の育成プログラム（10/6（日）～12/21（土）全15回）</li> <li>・地域円卓マネジメント会議（10/26～2/2 全5回）</li> <li>・クラウドファンディング実践講座（10/5～12/1 全5回）</li> <li>・社会的インパクト投資基礎概論（12/25～12/28 全4回）</li> <li>・ファシリテーションの技法と地域振興（11/9～1/18 全5回）</li> <li>・キャリアデザインとジェンダーⅡ（10/3～1/30 全15回）</li> <li>・ソーシャルキャピタル構築講座（島マス記念塾in 琉大）（11/30～2/8 全15回）</li> </ul> <p>○2019年度学長特別政策経費重点施策推進事業の遂行</p> <p>○琉球大学地域連携FD・SD 研修会（仮称）の検討</p> <p>○地域協働プロジェクト推進事業の遂行</p> <p>○与那国町及び伊江村とのICT実証実験の実施（調整中）</p> <p>○地域連携推進機構の機能強化に向けた体制整備についての検討（地域連携に関するワンストップ窓口機能の整理含む）</p> <p>○交流人材バンク設置に向けた検討（機能、体制、規則等）</p> <p>○包括連携協定締結に向けた検討・調整</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪市港区 ※調整中</li> <li>・沖縄県中小企業家同友会 ※調整中</li> </ul> <p>○宜野湾市議会とのパートナーシップ協定の検討・調整</p> |
| <p>産学官連携部門</p>  | <p>○沖縄県「イノベーション創出人材育成事業」の遂行</p> <p>○沖縄県「沖縄科学技術イノベーションシステム構築事業」の遂行</p> <p>○産学官金スタートアップ支援事業の遂行</p> <p>○琉球大学ブランド商品開発支援事業の遂行</p> <p>○九州・大学発ベンチャー振興シーズ育成資金の支援</p> <p>○2019年度学長特別政策経費重点施策推進事業の遂行</p> <p>○県外マッチングイベントへの参加支援</p> <p>アグリビジネス創出フェア2019（11/20（水）～11/22（金））於：東京ビッグサイト<br/>         新技術説明会（12/3（火））於：JST東京本部別館1Fホール<br/>         エコプロ2019（12/5（木）～12/7（土））於：東京ビッグサイト</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>生涯学習推進部門</p> | <p>○地域創生副専攻の運営</p> <p>○地域共創型学生プロジェクト「ちゅらプロ」（学内公募）の実施</p> <p>○正課外地域実践プロジェクト（学内公募）の実施</p> <p>○地域共創による地域志向実習（久米島、宮古島、石垣、うるま、南城、宜野湾、西原）</p> <p>○「知のふるさと納税」（八重山9/17～9/18、久米島9/24～9/25）の報告書作成</p> <p>○地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）フォローアップに係る現地視察（12/13 13：00～）</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

## 地域連携推進機構運営会議 委員名簿

(令和元年11月11日時点)

|    | 所属・職名                                 | 氏名                  | 区分    | 備考                      |
|----|---------------------------------------|---------------------|-------|-------------------------|
| 1  | 機構長<br>(理事・副学長(地域・社会連携担当))            | うしくぼ きよし<br>牛窪 潔    | 1号委員  | 議長                      |
| 2  | 副機構長 兼 産学官連携部門長<br>(副学長・副理事(産学官連携担当)) | たけむら あきひろ<br>竹村 明洋  | 2号委員  | 議長代行                    |
| 3  | 地域連携企画室長<br>(生涯学習推進部門 教授)             | せと ひろふみ<br>背戸 博史    | 3号委員  |                         |
| 4  | 生涯学習推進部門長<br>(生涯学習推進部門 教授)            | せと ひろふみ<br>背戸 博史    | 4号委員  |                         |
| 5  | 生涯学習推進部門 准教授                          | しばた きとし<br>柴田 聡史    | 5号委員  | 専任教員                    |
| 6  | 地域連携企画室 特命准教授                         | こじま はじめ<br>小島 肇     | 6号委員  | 特命教員                    |
| 7  | 地域連携企画室 特命准教授                         | しまぶくろ あきみち<br>島袋 亮道 | 6号委員  | 特命教員                    |
| 8  | 地域連携企画室 特命准教授                         | はたなか ひろし<br>畑中 寛    | 6号委員  | 特命教員                    |
| 9  | 産学官連携部門 教授<br>(工学部 教授)                | せなは いずる<br>瀬名波 出    | 7号委員  | 併任教員<br>(任期:2019年4月1日～) |
| 10 | 産学官連携部門 教授<br>(理学部 教授)                | まえひら たかひろ<br>眞榮平 孝裕 | 7号委員  | 併任教員<br>(任期:2019年4月1日～) |
| 11 | 総合企画戦略部長                              | にった きなえ<br>新田 早苗    | 9号委員  |                         |
| 12 | 総合企画戦略部 地域連携推進課長                      | きんじょう とおる<br>金城 徹   | 10号委員 |                         |
| 13 |                                       |                     |       |                         |
| 14 |                                       |                     |       |                         |

## 国立大学法人琉球大学地域連携推進機構規則

平成28年2月23日  
制 定

### (趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人琉球大学組織規則第16条第2項の規定に基づき、国立大学法人琉球大学地域連携推進機構(以下「機構」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定める。

### (目的)

第2条 機構は、国立大学法人琉球大学(以下「本法人」という。)における地域連携、産学官連携及び生涯学習推進に関わる戦略を全学的かつ一体的な観点から確立し、地域社会における人材の育成、産業振興に貢献するとともに地域連携の諸活動を通して本法人における教育研究活動の活性化を図ることを目的とする。

### (部門等)

第3条 前条の目的を達成するため、機構に次の室、部門、系及びセンターを置く。

- (1) 地域連携企画室
- (2) 産学官連携部門
  - ア 研究開発支援系
  - イ 知的財産系
  - ウ 起業支援系
- (3) 生涯学習推進部門
  - ア 社会教育系
  - イ 地域志向教育系
- 2 前項1号の地域連携企画室に交流人材センターを置く。
- 3 交流人材センターに関し必要な事項は、別に定める。

### (業務)

第4条 機構においては、次に掲げる業務を行う。

- (1) 地域連携企画室
  - ア 機構全体の統括、方向性に関すること。
  - イ 機構内の組織間の協働体制の構築に関すること。
  - ウ 機構とグローバル教育支援機構、研究推進機構及び学部・研究科等との協働体制の構築に関すること。
  - エ 機構と産学官をはじめとする多様な組織との協働体制の構築に関すること。
  - オ 学内外への地域連携に係る広報戦略策定と実施に関すること。
  - カ 産学官民からの協力要請及び要望等に関する総合窓口に関すること。
- (2) 産学官連携部門
  - ア 民間機関等との共同研究、受託研究その他研究開発の支援に関すること。
  - イ 民間機関等の技術者及び学生等への技術教育の実施及び援助に関すること。
  - ウ 知的財産の創生、内容評価、特許出願、管理及び活用に関すること。
  - エ 知的財産の契約及び係争に関すること。
  - オ 知的財産の補償、表彰及び啓発普及に関すること。
  - カ 知的財産の技術移転に関すること。
  - キ 知的財産及びノウハウを活用した大学発ベンチャーの起業支援に関すること。
  - ク その他産学官連携の推進に関すること。

(3) 生涯学習推進部門

- ア 生涯学習体系に資する教育・研究に関する事。
- イ 公開講座及び公開授業の計画・実施の支援に関する事。
- ウ 本法人が有する生涯学習に資する機能の開放に関する事。
- エ 地域志向教育の推進に関する事。
- オ 地域人材の育成に関する事。
- カ 他の教育機関及び地域の生涯学習機関等との連携・協力に関する事。
- キ その他生涯学習に関する事。

(組織)

第5条 機構に、次の各号に掲げる職員を置く。

- (1) 機構長
- (2) 副機構長
- (3) 室長
- (4) 部門長
- (5) 専任教員
- (6) 特命教員
- (7) 併任教員
- (8) コーディネーター
- (9) その他の職員

(機構長)

第6条 機構に、機構長を置き、地域連携を担当する理事をもって充てる。

2 機構長は、機構の業務を掌理し、統括する。

(副機構長)

第7条 副機構長は、機構長の職を補佐するとともに、機構長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代行する。

- 2 副機構長は、本法人の副理事又は教員の中から機構長の推薦に基づき、学長が任命する。
- 3 副機構長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(室長)

第8条 室長は、当該室の業務を掌理するとともに、機構長の職務を補佐する。

- 2 室長は、本法人の教員の中から機構長の推薦に基づき学長が任命する。
- 3 室長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、室長に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(部門長)

第9条 部門長は、当該部門の業務を掌理するとともに、機構長の職務を補佐する。

- 2 部門長は、本法人の教員の中から機構長の推薦に基づき学長が任命する。
- 3 部門長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、部門長に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(地域連携推進会議)

第10条 機構の運営並びに全学の地域貢献及び地域連携等に関する事項を審議するため、地域連携推進会議（以下「推進会議」という。）を置く。

2 推進会議に関し必要な事項は、別に定める。

(地域連携推進協議会)

第11条 機構に対する評価・助言等を行うため、地域連携推進協議会を置く。

2 地域連携推進協議会に関し必要な事項は、別に定める。

(運営会議)

第12条 機構の運営に関わる基本方針の策定を行うため、地域連携推進機構運営会議(以下「運営会議」という。)を置く。

(審議事項)

第13条 運営会議は、次に掲げる事項の基本方針の策定について審議する。

- (1) 機構の管理運営に関すること。
- (2) 機構の教員人事(教員選考に係る部分を除く。)に関すること。
- (3) 機構の事業計画に関すること。
- (4) その他機構に関すること。

(運営会議の組織)

第14条 運営会議は、次に掲げる委員で構成する。

- (1) 機構長
- (2) 副機構長
- (3) 室長
- (4) 部門長
- (5) 専任教員
- (6) 特任教員
- (7) 機構長が指名する併任教員 若干人
- (8) コーディネーター
- (9) 総合企画戦略部長
- (10) 地域連携推進課長
- (11) その他機構長が必要と認めた者

2 前項第7号及び第11号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(議長)

第15条 運営会議に議長を置き、機構長をもって充てる。

2 議長は運営会議を招集し、主宰する。

3 議長に事故があるとき又は欠けたときは、副機構長がその職務を代行する。

(議事)

第16条 運営会議は、委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。

2 議決を要する事項については、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

3 議長が必要と認めるときは、委員以外の者を運営会議に出席させ、意見を聴くことができる。

(専門委員会)

第17条 機構に専門的事項を審議するため、専門委員会を置くことができる。

(事務)

第18条 機構に関する事務は、総合企画戦略部地域連携推進課において処理する。

(雑則)

第19条 この規則に定めるもののほか、機構の運営に関し必要な事項は、推進会議の承認を得て機構長が別に定める。

(改廃)

第20条 この規則の改廃は、推進会議の議を経て学長が行う。

附 則

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 琉球大学産学官連携推進規則（平成20年4月22日制定）は、廃止する。
- 3 琉球大学生涯学習教育研究センター規則（平成9年3月25日制定）は、廃止する。
- 4 琉球大学地域貢献推進委員会規程（平成14年6月25日制定）は、廃止する。

附 則（平成30年3月30日）

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

# 令和元年度第 1 3 回 地域連携推進機構運営会議 座席表

令和元年 11 月 15 日 (金) 15:00~17:00

(本部管理棟 2 階 第二会議室)

